

# 『宗教団体の社会貢献活動に関する調査』報告書

(2025年6月実施)

2026年5月

公益財団法人庭野平和財団

## 目 次

はじめに—調査の趣旨	1
調査の概要	3
調査の結果	5
問 1 宗教団体の行ってきた学校教育活動・病院運営などの社会貢献活動の認知は？	5
問 2 知っている宗教団体の社会貢献活動は？	7
問 3 宗教団体の行う社会貢献活動の評価は？	9
問 4 期待する宗教団体の行う社会貢献活動は？	11
問 5 宗教団体の行う平和活動の評価は？	13
問 6 参加してもよい宗教団体の実施する社会貢献活動は？	15
問 7 大規模災害時に、宗教団体が行った支援活動は？	17
問 7 (SQ) 大規模災害時の宗教者・宗教団体の活動を、何で知ったか？	19
問 8 大規模な災害が起きたときに、宗教者・宗教団体はどのような活動を行ったほうがよい？	21
問 9 (SQ) コロナ禍における宗教者・宗教団体の活動の認知	22
問 10~12 宗教の大切さ・信仰・加入について	26
資料編	28
質問紙と単純集計	29
クロス集計表	35
おわりに	79

## はじめに — 調査の趣旨

本書は、2025年に庭野平和財団が実施した「宗教団体の社会貢献活動に関する調査」の報告書である。庭野平和財団は、公益目的事業の一環としてサンプル数1,000超の統計調査を実施し、その成果を公表してきた。本調査研究は、宗教者・宗教団体が行う様々な社会貢献活動（社会活動・社会事業）は、どの程度日本社会において認知・評価・期待されているのか明らかにすることを目的としている。

宗教者・宗教団体は、教育・医療・社会福祉・平和活動・災害救助など様々な分野で社会的な活動・事業を行ってきた。ここで言う社会貢献活動とは、宗教団体の会員（信者）に対するサービスに止まらず、一般社会の公益に資する社会的な活動・事業を意味している。

悲田院・施薬院の時代から令和のコロナ禍まで、わが国の宗教者・宗教団体が取り組んだ社会貢献活動は多岐にわたる。政教分離の原則が施行された近代以降も（慈恵）慈善事業（明治期）、感化救済事業（明治末～大正期）、社会事業（大正中期～昭和初期）、戦時厚生事業（戦中期）等、キリスト者に触発される形で、数多の仏教者・仏教団体、あるいは教派神道の諸団体が社会的弱者（病人・貧困者・障がい者・孤児・科人等）の救済・救護・養護・感化に取り組んだ。

行政機能を補完する重要な役割を担ってきたにもかかわらず、宗教者・宗教団体の活動・事業の実態が報じられることは稀である。とりわけ戦後は、社会福祉法制が整備され、政教分離を厳格に捉えるまなざしが強まったこともあり、私的な団体（宗教団体）による社会貢献活動が大手マスコミ（全国紙、テレビの公共放送、民放各局）に取り上げられる機会はほぼなかった。

例外といえるのが阪神淡路大震災（1995年1月）と東日本大震災（2011年3月）である。そこでは宗教者・宗教団体による社会貢献活動が大手マスコミを介して報じられ、宗教の社会的役割に少なからぬ注目が集まった。ただし報道された内容は断片的・局所的であり、決して全体像が報じられたわけではなかった。

メディアが扱う商品は新奇性であり、平凡な事実や日常ではない。宗教者・宗教団体が報じられるのは、事件・トラブル・スキャンダル・災害等、非日常的な出来事が発生した際に限られる。通時的に淫祠邪教キャンペーンは見られるが、オウム真理教による地下鉄サリン事件（1995年3月）、ならびに山上徹也による安倍晋三元首相銃撃事件および旧統一教会といわゆる宗教2世に関する報道（2022年7月～現在）は、宗教を危険視する世論を日本社会に強く浸透させた。

この他、性暴力や金銭トラブルに関する報道もあり、日本社会の現状に鑑みて、宗教者・宗教団体のイメージは芳しいものではない。既存の大手マスコミの読者・視聴者は、宗教者・宗教団体による非人道的な逸脱行為の報道に触れる機会に比して、人道的な社会貢献活動を知る機会は圧倒的に少ないのである。

さらに2000年代以降は、インターネットとYouTube、Instagram、TikTok、Facebook等のSNSの普及は、フィルターバブルあるいはエコーチェンバーとよばれる情報の島宇宙化を促進させている。

これまでも宗教者・宗教団体がどのような社会的役割を果たしているのかという考察は、宗教社会学や社会学を中心に論じられてきたし、社会福祉学の一部でも取り上げられてきた。しかしながら、わが国には公的機関が宗教者・宗教団体の社会的活動・事業を調査する制度はなく、実際のリアルなデータを数量的に収集し、中立的な立場から検討・分析がなされる機会は稀であった。他機関の調査を望見してもそれぞれ長短があり、さらなるデータの蓄積が必要であることは論を俟たない。

本調査は、こうした状況の下、宗教者・宗教団体が行う多様な社会貢献活動の認知に関わる基礎データを提供するために計画実施されたものである。

前回調査（2016年）以降、コロナ禍（2020年4月に第一回緊急事態宣言～2023年5月に感染症法の位置づけが5類に移行）、および能登半島地震（2024年1月・同年9月に豪雨災害）が発生している。さらにロシアによるウクライナ侵攻（2022年2月～。欧米メディアによると死者はウクライナは兵6-10万、民間人は少なくとも10,582。ロシアは兵25万）、ハマスによるテロ（死者876人）への制裁を遙かに上回る規模のネタニヤフ政権のガザ侵攻（2023年10月～。パレスチナ人死者46,000～70,000人）があった。2025年1月には第二次トランプ政権が発足し、独善的な保護政策が矢継ぎ早に推進され、排外的な反グローバリズムの思潮に拍車がかかった。本調査実施後の2026年2月にもアメリカ・イスラエルによるイラン攻撃が勃発している。これら世相の大きな変化は我々の調査にどのような影響を与えるであろうか。

なお、これまでの調査の設計・分析を担ってこられた石井研士・國學院大學教授が体調を崩されたため、寺田喜朗（大正大学教授）と丹羽宣子（立教大学助教）が代わって今回の調査の設計・分析を担当することになった。担当者の交代に伴い、いくつかの設問の順番を入れ替え、一部ワーディングを変更し、新たな設問も用意した。さらに2020年代以降の急速な情報環境の変化を受け、メディア利用に関する設問の選択肢を増設した。以上の詳細は、それぞれ設問毎に記している。

庭野平和財団は、社会の多方面に重要なデータを提供することで、国際的な宗教協力を基盤とした平和のための活動、そして明るい社会を作るための活動に貢献することを目指している。本調査もその目的に裨益することを願う。最後になるが、調査に協力して下さったすべての方々に謝意を表するとともに、日本社会において宗教者・宗教団体の様々な活動・事業が正しく認知され、よりニュートラルな評価と相応な期待を担うことを願うものである。

寺田喜朗（大正大学 教授）

丹羽宣子（立教大学 助教）

## 調査の概要

本調査は、2008年に初めて実施され、2度目は2012年、3度目は2016年、今回は4度目の調査となる。調査の概要は以下の通りである。調査の実施は、社団法人中央調査社に依頼した。

### 2025年度調査

調査対象	全国の20歳以上の男女4,000人
抽出方法	層化3段抽出法
調査方法	調査員による個別面接調査
調査時期	2025年6月6日～16日
有効回答数	1,184(29.6%)
調査機関	一般社団法人中央調査社

### 2016年度調査

調査対象	全国の20歳以上の男女3,950人
抽出方法	層化3段無作為抽出法
調査方法	調査員による個別面接調査
調査時期	2016年6月3日～13日
有効回答数	1,185(30.0%)
調査機関	一般社団法人中央調査社

### 2012年度調査

調査対象	全国の20歳以上の男女4,000人
抽出方法	層化3段無作為抽出法
調査方法	調査員による個別面接調査
調査時期	2012年5月10日～19日
有効回答数	1,232(30.8%)
調査機関	一般社団法人中央調査社

### 2008年度調査

調査対象	全国の20歳以上の男女4,000人
抽出方法	層化3段無作為抽出法
調査方法	調査員による個別面接調査
調査時期	2008年10月10日～19日
有効回答数	1,233(30.8%)
調査機関	一般社団法人中央調査社

属性

<都市規模別>

	総数	21大都市	その他の都市	郡・町村
2025年	1,184	337(28.5%)	729(61.6%)	118(10.0%)
2016年	1,185	322(27.2%)	735(62.0%)	126(10.8%)
2012年	1,232	343(27.8%)	763(61.9%)	126(10.2%)
2008年	1,233	298(24.2%)	809(65.6%)	126(10.2%)

<性別>

	総数	男性	女性
2025年	1,184	527(44.5%)	657(55.5%)
2016年	1,185	538(45.4%)	647(54.6%)
2012年	1,232	554(45.0%)	678(55.0%)
2008年	1,233	575(46.6%)	658(53.4%)

<年代別>

	総数	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
2025年	1,184	98(8.3%)	103(8.7%)	184(15.5%)	205(17.3%)	195(16.5%)	330(33.7%)
2016年	1,185	118(10.0%)	169(14.3%)	216(18.2%)	186(15.7%)	217(18.3%)	279(23.5%)
2012年	1,232	154(12.5%)	223(18.1%)	200(16.2%)	204(16.6%)	214(17.4%)	237(19.2%)
2008年	1,233	125(10.1%)	225(18.2%)	189(15.3%)	209(17.0%)	243(19.7%)	242(19.6%)

<学歴別>

	総数	(旧)小・高小 (新)中学	(旧)中学 (新)高校	(旧)高専大 (新)大学	不明
2025年	1,184	68(5.7%)	572(48.3%)	538(45.4%)	6(0.5%)
2016年	1,185	108(9.1%)	591(49.9%)	470(40.4%)	7(0.6%)
2012年	1,232	170(13.8%)	585(47.5%)	474(38.5%)	3(0.2%)
2008年	1,233	184(14.9%)	663(53.8%)	385(31.2%)	1(0.1%)

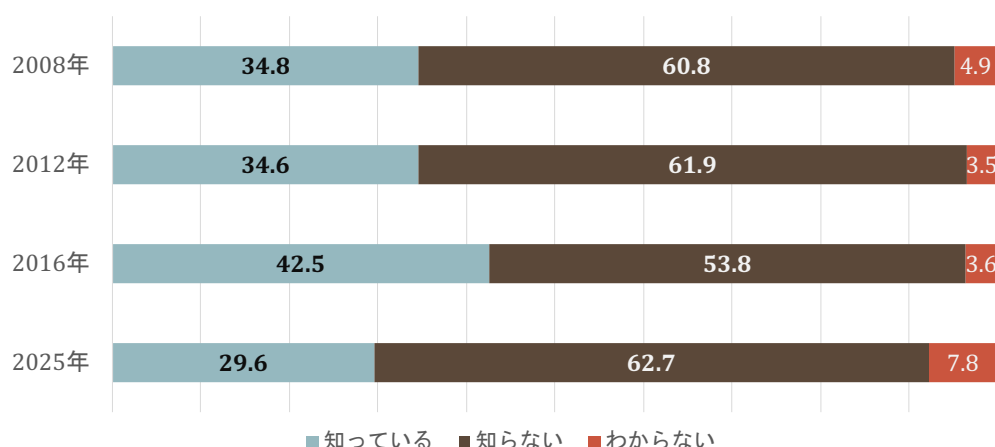
## 調査の結果

### 宗教団体の行ってきた学校教育活動・病院運営などの社会貢献活動の認知は？

問1 あなたは、宗教者・宗教団体が、女性や子どものための学校教育活動、弱者のための病院運営などの社会貢献活動を長い間行ってきたことを知っていますか。(%)

		2025年	2016年	2012年	2008年
1	知っている	29.6	42.5	34.6	34.8
2	知らない	62.7	53.8	61.9	60.8
3	わからない	7.8	3.6	3.5	4.9

図1 社会貢献活動の認知 (%)



回答者への質問では、問1として、宗教団体の行う社会貢献活動の認知について尋ねた。「宗教団体の社会貢献」という表現は、必ずしもなじみ深いものとは言えないので、具体的にイメージしやすいように、もっとも一般的と考えられる学校教育活動・病院活動を例に挙げて質問している。仏教系大学（大正大学・駒澤大学・武蔵野大学・立正大学・淑徳大学・仏教大学・大谷大学・龍谷大学・同朋大学・愛知学院大学・相愛大学・東北福祉大学・高野山大学・身延山大学・花園大学等、仏教系大学会議の加盟校は57）、キリスト教系大学（立教大学・上智大学・明治学院大学・青山学院大学・国際基督教大学・桜美林大学・同志社大学・関西学院大学・南山大学・桃山学院大学・西南学院大学・東北学院大学・宮城学院大学・東京女子大学・聖心女子大学・フェリス女学院大学等、計75校）、神道系大学（國學院大学・皇學館大学）、新宗教系大学（創価大学・天理大学・日本福祉大学・麗澤大学）をはじめ、様々な宗教団体・宗派・教派が学校教育活動に関与していることは大学人にとっては常識であり、あるいは夏の高校野球におけるPL学園・天理高校・創価高校・智弁学園など新宗教系高校の活躍は国民的な知名度を誇っているはずである。その他、東海学園・芝学園・宝仙学園・純心学園・サレジオ学園・佼成学園・金光学園等の学校法人も広くその名が知られている。また聖母病院・慈恵病院・聖マリア病院・聖路加国際病院・桜町病院・淀川キリスト教病院等のキリスト教系病院、あるいは天理よろづ相談所病院、また2024年に72年の歴史に幕を閉じた立正佼成会付属佼成病院（同年に杏林学園に事業譲渡）という新宗教団体が設立した病院も長年、地域医療を支えてきた。

2025年の調査結果では、「知っている」が29.6%、「知らない」が62.7%であった。前回の調査（2016年「知

っている」42.5%「知らない」53.8%)と比して「知っている」は12.9ポイント減、「知らない」は8.9ポイント増と大きく認知度を減らしている。居住地周辺に宗教系の学校・病院がない人々の存在をまず考慮に入れるべきだろうが、この9年間でここまで認知度が低下した事態についてはどのように考えればいだろうか。マスコミを介してこれらの知識・情報に触れる機会が減った可能性もあるが、2022年7月に発生した安倍晋三元首相銃撃事件によって、旧統一教会のみならず「宗教」なるもの全般に対する印象が悪化した可能性を考慮に入れるべきだろう。

## 知っている宗教団体の社会貢献活動は？

問2 あなたは、ここにあげるような、宗教者・宗教団体の行っている社会貢献活動の中で、知っているものがありますか。この中からあてはまるものをいくつでもあげてください。(複数回答) (%)

		2025年	2016年	2012年	2008年
1	小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校などの教育機関の経営	32.8	36.1	33.3	40.0
2	児童の福祉の増進に関する事業(保育所、幼稚園、児童養護施設など)	20.3	31.6	29.3	33.4
3	老人の扶助を目的とした事業(養護老人ホーム、特別養護老人ホームなど)	11.5	18.1	16.3	20.7
4	身体障害者更生施設などの経営、身体障害者の扶助を目的とした事業	7.3	13.7	11.8	14.8
5	婦人保護施設の経営、困難な状況に置かれた女性の扶助を目的とした事業	6.1	9.2	9.0	10.9
6	診療所、病院など医療機関の経営	15.2	20.5	19.4	23.8
7	民生委員、教誨師、篤志面接員、保護司などの活動	10.5	12.7	11.2	12.2
8	伝統文化、地域文化などの保存活動	7.6	11.2	10.6	11.9
9	自殺防止に関わる活動	5.2	8.5	11.2	7.5
10	災害時のボランティア活動	14.9	19.4	21.0	18.7
11	緑化、温暖化の防止など環境に関する活動	5.2	7.2	7.5	10.3
12	在留外国人の生活支援や交流活動 ※1	5.1	-	-	-
13	海外の教育、医療等の援助活動	6.7	11.2	13.0	14.5
14	海外の紛争地域などでの救助活動、難民支援 ※1	5.4	-	-	-
15	その他	0.0	0.4	0.2	0.2
16	どれも知らない	47.4	39.4	46.9	44.3
17	わからない	7.3	4.1	3.6	5.0

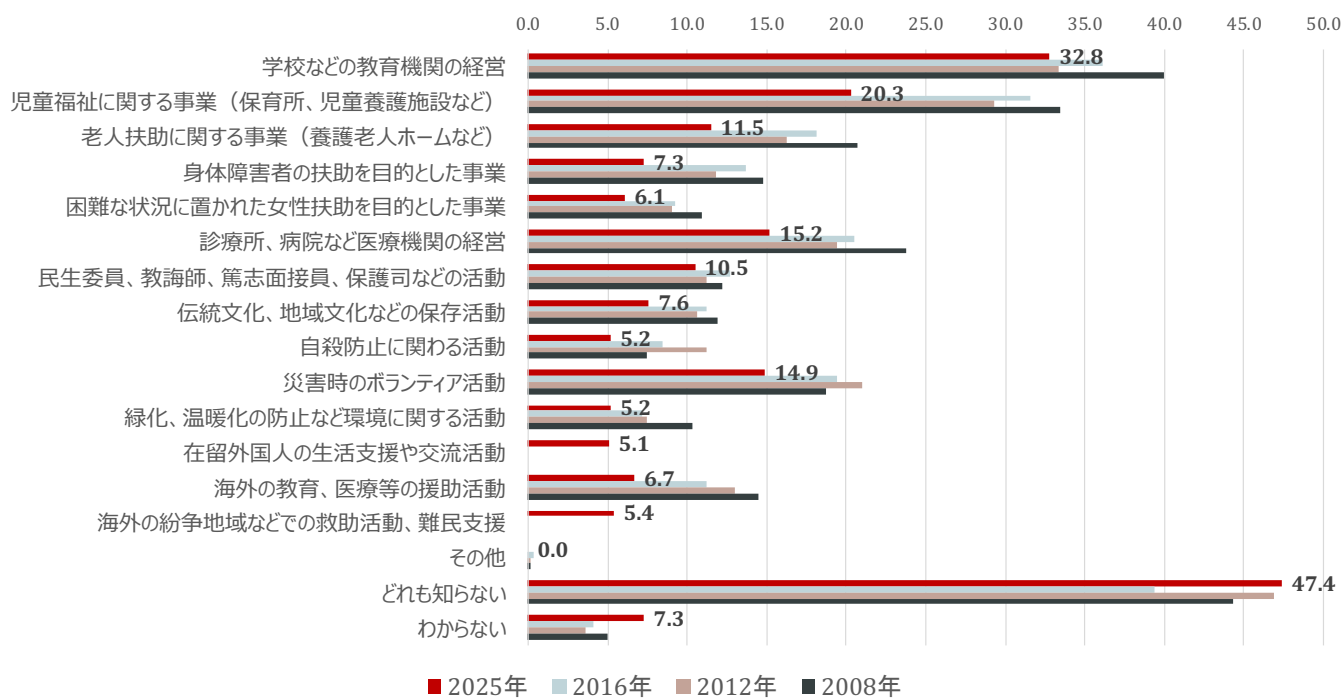
※1 2025年調査より新設

問2では「あなたは、ここにあげるような、宗教者・宗教団体の行っている社会貢献活動の中で、知っているものがありますか」と具体的な社会貢献活動の認知を尋ねた。調査コーディネーターの交代(石井研士國學院大學教授から寺田・丹羽へ)選択肢の順番を少し変えてみた(認知度がおそらく高いであろう教育5を1へ移動し、おそらく認知度が低いであろう項目へ基本的に降順に並べる方針を取った)。また、「12 在留外国人の生活支援や交流活動」「14 海外の紛争地域などでの援助活動、難民支援」という選択肢を新設した。

結果は、問1の教育機関の認知度が前回調査から3.3ポイント低下している。ただし2008年調査では40.0%、2012年調査では33.3%、2016年調査では36.1%、2025年調査では32.8%と跛行的な結果が出ているので、何が影響を与えているか慎重な見極めが必要である。なお、問1の29.6%と問2の32.8%は明らかに矛盾しているので、問1の結果についても割引いて考える必要がある。教育機関の経営についての認知度がもっとも高いが、それ以外で10%以上の認知を得ていたのは、2 児童福祉、3 老人福祉、6 医療機関の経営、7 民生委員や教誨師・保護司などの活動、10 災害時のボランティア活動の5つであった。その中では災害時のボランティア活動がもっとも高い認知度を示している(14.9%)。ただし、東日本大震災(2011年3月)の翌年の2012年調査では21.0%だったので漸次的にスコアを減らしている。2024年1月に発生した能登半島地震における宗教者・宗教団体のボランティア活動が、東日本大震災時ほど報道されなかったことに要因が求められるかもしれない。

他方、すべての項目において認知度が逡減している事態をどのように考えればいだろうか。児童福祉など 10 ポイント以上スコアを減らした項目もある。宗教者・宗教団体が関与する児童福祉活動（保育所・幼稚園・児童養護施設など）については、マスコミからの情報発信がなければ知る機会がない人が多いのかもしれない。YouTube や SNS などでもこれらの活動が拡散される機会は少ないだろう。

図 2 知っている宗教団体の社会貢献活動（複数回答）（%）

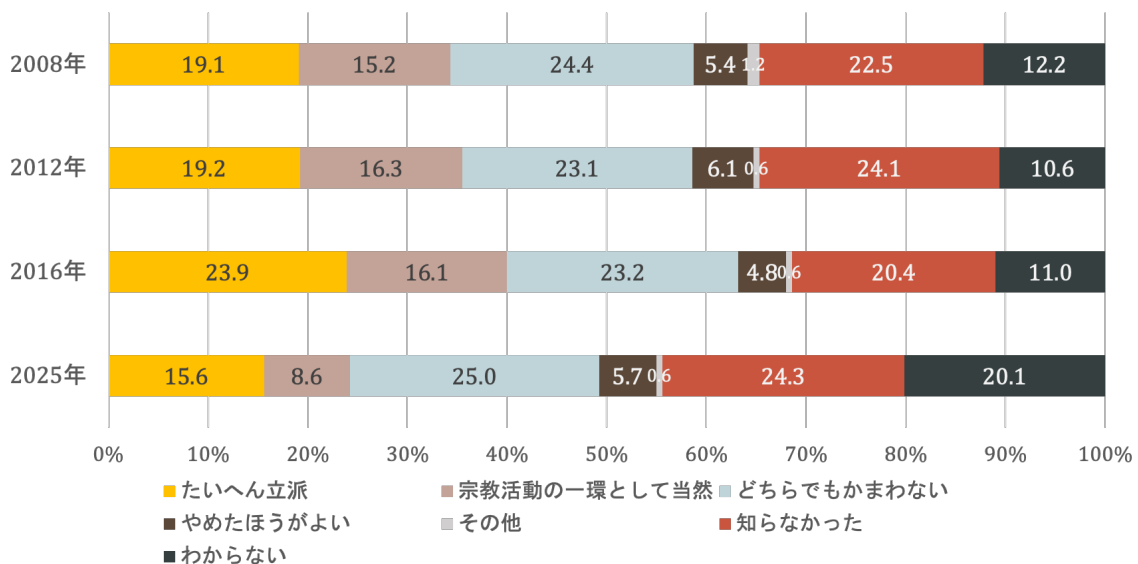


## 宗教団体の行う社会貢献活動の評価は？

問3 あなたは、宗教者・宗教団体が、このような社会貢献活動を行ってきたことに対してどのように考えますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。（％）

		2025年	2016年	2012年	2008年
1	たいへん立派な活動で、もっと活発に行ってほしい	15.6	23.9	19.2	19.1
2	宗教者・宗教団体がこうした活動を行うのは、宗教活動の一環として当然である	8.6	16.1	16.3	15.2
3	宗教者・宗教団体が勝手にやっていることで、やってもやらなくてもどちらでもかまわない	25.0	23.2	23.1	24.4
4	宗教者・宗教団体がよい評判を得ようとしてやっていることで、やめたほうがよい	5.7	4.8	6.1	5.4
5	その他	0.6	0.6	0.6	1.2
6	宗教者・宗教団体がこのような社会活動を行っていたことを知らなかった	24.3	20.4	24.1	22.5
7	わからない	20.1	11.0	10.6	12.2

図3 宗教者・宗教団体の行う社会貢献活動の評価（％）



第3問では、社会貢献活動に対してどのように考えるか、ということを探っている。2008年調査・2012年調査でもっとも多かった回答は「宗教団体がこのような社会活動を行っていたことを知らなかった」であったが、2016年調査では「たいへん立派な活動で、もっと活発に行ってほしい」がもっとも多くなっていた（23.9%）。

今回の調査では、「宗教者・宗教団体が勝手にやっていることで、やってもやらなくてもどちらでもかまわない」が最多となっている（25.0%）。続いて「宗教団体がこのような社会活動を行っていたことを知らなかった」

となっている (24.3%)。「たいへん立派な活動で、もっと活発に行ってほしい」は 15.6%まで低下した。

前回調査と比して、肯定的評価 (1 と 2) が (23.9+16.1=) 40.0 から (15.6+8.6=) 24.2 へと激減し、無関心 (3 と 6 と 7) は (23.2+20.4+11.0=) 54.6 から (25.0+24.3+20.1=) 69.4 へ急増、否定的評価 (4) は 4.8 から 5.7 へ微増している。2016 年から 2025 年間に宗教者・宗教団体の社会貢献活動に関する知識・情報に関するスコアが上昇したわけではないので (問 1 と問 2)、ひとえに宗教者・宗教団体へのイメージが悪化したことが、このスコアの変化に影響を与えていると考えられる。認知や評価は大きく悪化している。

## 期待する宗教団体の行う社会貢献活動は？

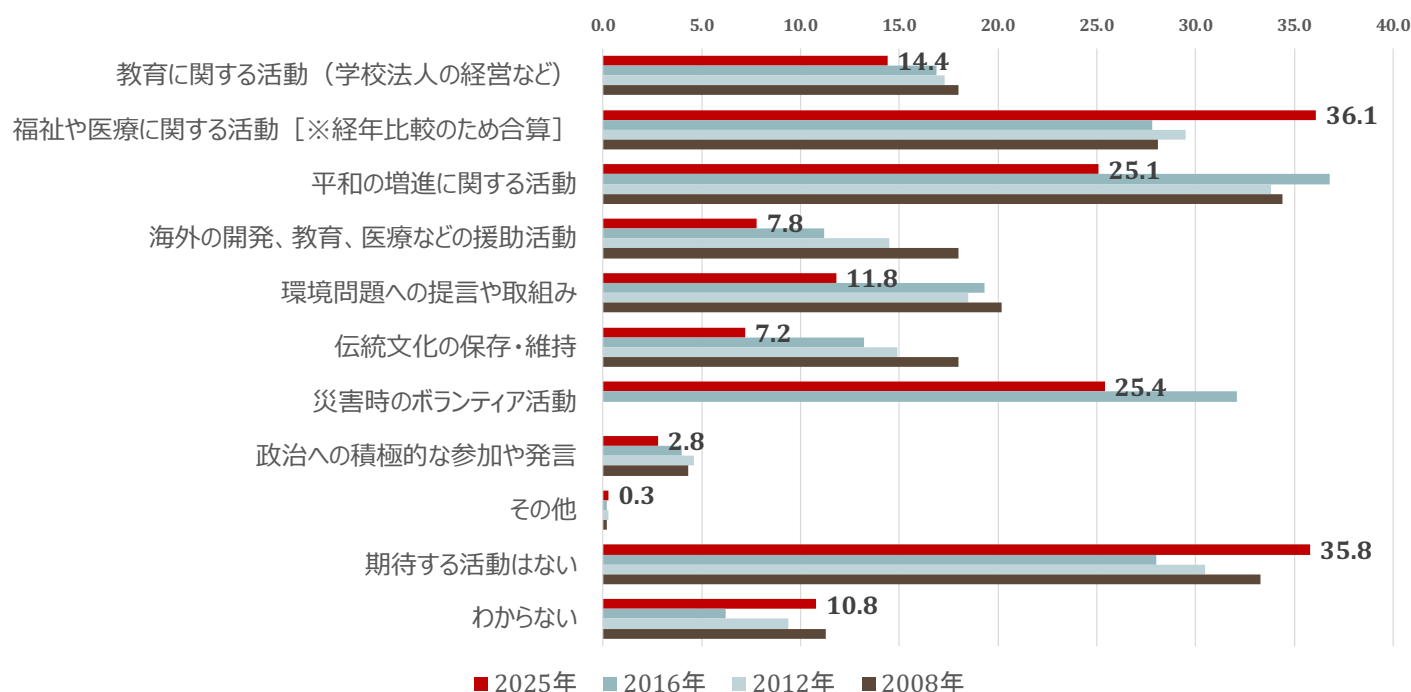
問4 あなたは、宗教者・宗教団体が行う活動として、どのような活動を期待しますか。この中からあてはまるものをいくつでも選んでください。(複数回答)(%)

	2025年	2016年	2012年	2008年
1 教育に関する活動(学校法人の経営など)	14.4	16.9	17.3	18.0
2 福祉に関する活動(保育所・児童養護施設の運営や社会的弱者への援助など) ※1	22.3	27.8	29.5	28.1
3 医療に関する活動(グリーフケア、終末期医療、カウンセリングなど) ※2	13.8			
4 平和の増進に関する活動	25.1	36.8	33.8	34.4
5 海外の開発、教育、医療などの援助活動	7.8	11.2	14.5	18.0
6 環境問題への提言や取組み	11.8	19.3	18.5	20.2
7 伝統文化の保存・維持	7.2	13.2	14.9	18.0
8 災害時のボランティア活動 ※2	25.4	32.1	-	-
9 政治への積極的な参加や発言	2.8	4.0	4.6	4.3
10 その他	0.3	0.2	0.3	0.2
11 期待する活動はない	35.8	28	30.5	33.3
12 わからない	10.8	6.2	9.4	11.3

※1 2008・2012・2016年調査では「医療や福祉に関する活動」

※2 2016年調査より新設

図4 期待する宗教者・宗教団体の行う社会貢献活動(複数回答)(%)



今回の調査では、もっとも期待する宗教者による社会貢献活動は、「災害時のボランティア活動」であった(25.4%。ただし前回調査の32.1%よりスコアは下がっている)。これに前回調査(36.8%)で最も多かった「平和の増進に関する活動」が続く(25.1%)。今回の調査では、宗教者・宗教団体へ期待すること自体を拒否する「期待する活動はない」という回答が最多の35.8%を占めており、そのスコアは前回調査から(35.8-28.0=)7.8も増加している。なお今回から、「福祉」と「医療」を分けて尋ねたが、それぞれ福祉22.3%、医療13.8%というスコアであった(前回以前は併記で、2016年は27.8、2012年は29.5、2008年は28.1)。福祉には、「保育所・児童養護施設の運営や社会的弱者への援助など」、医療には、「グリーフケア、終末期医療、カウンセリングなど」と説明書きを加えたが、スコアの伸びは見られなかった。他の項目も軒並みスコアを減らしているが、「海外の開発、教育、医療などの援助活動」(7.8%)は、2016年調査から(11.2-7.8=)3.4、2008年調査からは(18.0-7.8=)10.2もスコアを減らしている。同様に「環境問題への提言や取組み」(11.8%)も2016年調査から(19.3-11.8=)7.5、2008年調査からは(20.2-11.8=)8.4スコアを減らしている。海外援助や環境問題に関する関心・期待の低下が背景にあると思われるが、ここにもこの9年間の間の宗教者・宗教団体へのイメージの悪化が見てとれる。「伝統文化の保存・維持」(7.2%)も2016年の13.2、2012年の14.9、2008年の18.0から漸次的に期待を減らしている。

なお本調査では、教育・福祉・災害支援への期待が30代において比較的高い傾向がみられた。

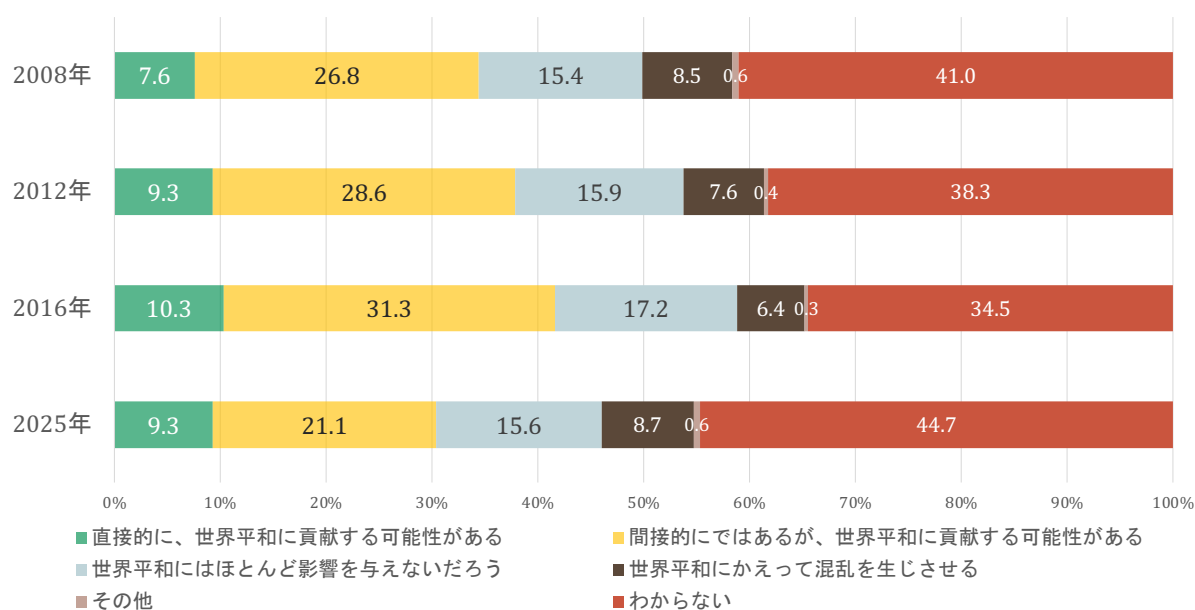
	全体 (n=1184)	20代 (n=98)	30代 (n=103)	40代 (n=184)	50代 (n=205)	60代 (n=195)
1 教育に関する活動	14.4	11.2	23.3	11.4	17.1	12.3
2 福祉に関する活動	22.3	15.3	29.1	17.9	28.3	23.1
3 医療に関する活動	13.8	12.2	17.5	12.5	12.7	12.3
4 平和の増進に関する活動	25.1	16.3	20.4	19.0	31.2	33.8
5 海外の開発、教育、医療などの援助活動	7.8	5.1	7.8	3.8	8.8	10.3
6 環境問題への提言や取組み	11.8	8.2	8.7	5.4	14.6	14.4
7 伝統文化の保存・維持	7.2	6.1	4.9	6.0	7.8	7.7
8 災害時のボランティア活動	25.4	17.3	30.1	24.5	26.8	25.1
9 政治への積極的な参加や発言	2.8	2.0	1.9	0	2.4	4.6
10 その他	0.3	0	0	0	0	0
11 期待する活動はない	35.8	36.7	35.9	38.0	33.7	32.3
12 わからない	10.8	19.4	5.8	10.3	7.3	12.3

## 宗教団体の行う平和活動の評価は？

問5 多くの宗教者・宗教団体は、比叡山宗教サミットや世界宗教者会議（WCRP）などを定期的に開催して、世界平和について働きかけを行っています。あなたは、このことについてどう思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。（％）

		2025年	2016年	2012年	2008年
1	宗教者・宗教団体の行う平和活動は、直接的に、世界平和に貢献する可能性がある	9.3			
	宗教者・宗教団体の行う平和活動は、直接的に、世界平和に貢献している		10.3	9.2	7.6
2	宗教者・宗教団体の行う平和活動は、間接的にはあるが、世界平和に貢献する可能性がある	21.1			
	宗教者・宗教団体の行う平和活動は、間接的にはあるが、世界平和に貢献している		31.3	28.6	26.8
3	宗教者・宗教団体の行う平和活動は、世界平和にはほとんど影響を与えないだろう	15.6			
	宗教者・宗教団体の行う平和活動は、世界平和にはほとんど影響がない		17.2	15.9	15.4
4	宗教者・宗教団体の行う平和活動は、世界平和にかえって混乱を生じさせる	8.7			
	宗教者・宗教団体の行う平和活動は、世界平和にかえって混乱を生じさせている		6.4	7.6	8.5
5	その他	0.6	0.3	0.4	0.6
6	わからない	44.7	34.5	38.3	41.0

図5 宗教者・宗教団体の行う平和活動の評価・経年変化（％）



この設問に関しては、選択肢の文章を修整した。具体的には、これまでの選択肢「貢献している」を「貢献する可能性がある」へと加筆・修整した。比叡山サミットが「直接的に世界平和に貢献している」という選択肢に○を付けるより、「直接的に貢献する可能性がある」とした方が、肯定的評価や期待を拾いやすいと考えたためである。別言すると、ウクライナ戦争（2022年2月～）やパレスチナ紛争（2023年10月～）が長期化し、和平・停戦に向けた有効な手立てが見つからない中、ポジティブな評価・期待の回答はどの程度得られるのか、現状の評価より、未来への期待・希望も含めた回答を尋ねてみようと考えた。

結果的には、ワーディングを変えたところで肯定的な評価・期待は上がらなかった。具体的には、「直接的に、世界平和に貢献する可能性がある」への回答は9.3であり、2016年調査「直接的に、世界平和に貢献している」の10.3から1.0スコアを減らした（ただし2012年の9.2、2008年の7.6からは微増という結果である）。「間接的にではあるが、世界平和に貢献する可能性がある」については回答が上がることを想定していたが、予測は外れた。今回は21.1であり、2016年調査「間接的にではあるが、世界平和に貢献している」の31.3から10.2もスコアを減らした。総体的に言うと肯定的評価は減っている。しかし肯定的評価（設問1・2）は、現状でも30.4ポイントある。

一方、否定的評価が高まったとも言えない。否定的評価の設問については文言を変えていないが、「ほとんど影響がない」の15.6は、2016年調査の17.2から1.6スコアを減らしている（つまりこの設問についてはやや肯定的な評価が得られている）。他方、「かえって混乱を生じさせている」は8.7、2016年調査（6.4）から1.3スコアを伸ばしている。つまり、肯定的評価が30.4ポイント、否定的評価（設問3・4）は24.3であり、世界平和については今回の調査でも肯定的な評価が高いことがわかる。

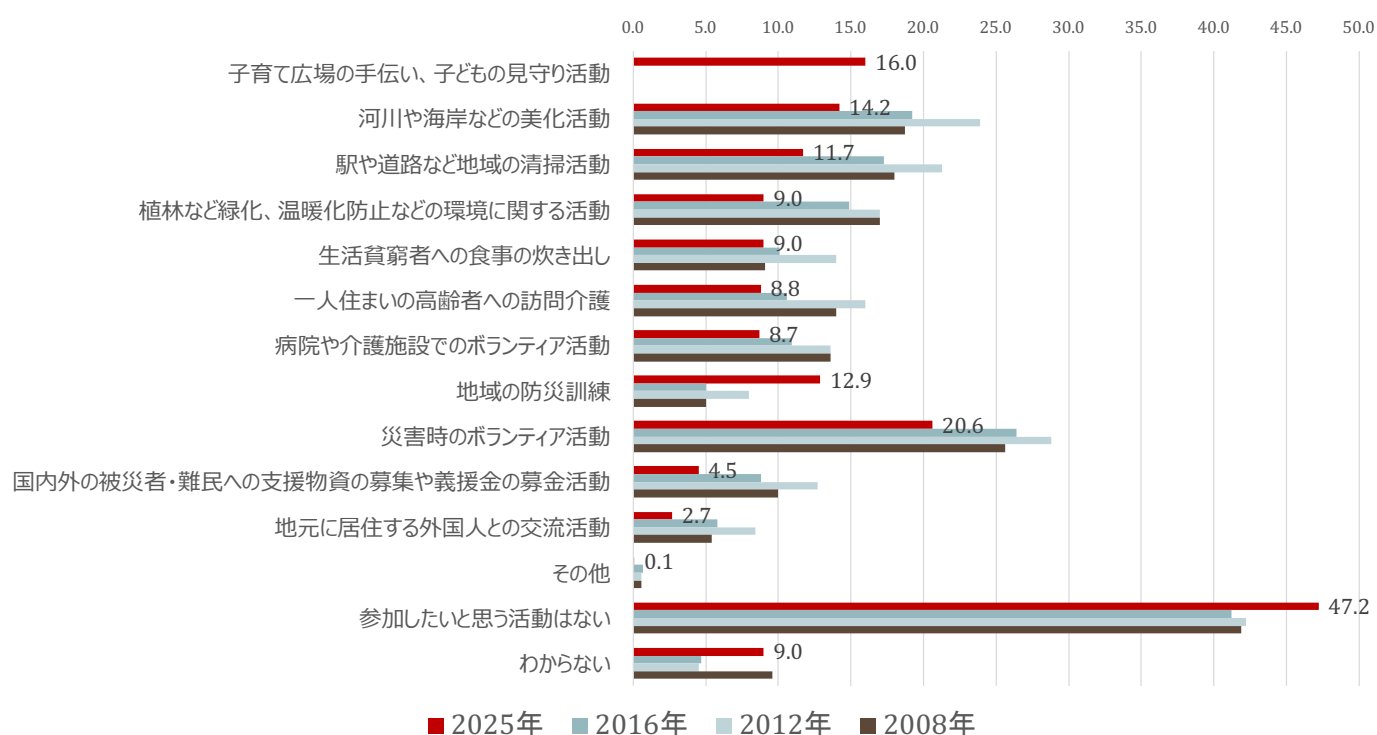
今回のスコアの増減には、「わからない」の回答が10.2ポイント増加していることが影響している。評価保留という回答が10ポイント増えたことも今回の調査の大きな特徴である。

## 参加してもよい宗教団体の実施する社会貢献活動は？

問6 宗教団体や関連団体、もしくは宗教団体の連合体が実施する社会貢献活動で、信者・会員になることを前提としないならば、参加してもよいと思う社会貢献活動はどのようなものでしょうか。この中からあてはまるものをいくつでも選んでください。（複数回答）（％）

		2025年	2016年	2012年	2008年
1	子育て広場の手伝い、子どもの見守り活動	16.0			
2	河川や海岸などの美化活動	14.2	19.2	23.9	18.7
3	駅や道路など地域の清掃活動	11.7	17.3	21.3	18.0
4	植林など緑化、温暖化防止などの環境に関する活動	9.0	14.9	17.0	17.0
5	生活貧窮者への食事の炊き出し	9.0	10.1	14.0	9.1
6	一人住まいの高齢者への訪問介護	8.8	10.6	16.0	14.0
7	病院や介護施設でのボランティア活動	8.7	10.9	13.6	13.6
8	地域の防災訓練	12.9	5.0	8.0	5.0
9	災害時のボランティア活動	20.6	26.4	28.8	25.6
10	国内外の被災者・難民への支援物資の募集や義援金の募金活動	4.5	8.8	12.7	10.0
11	地元に住居する外国人との交流活動	2.7	5.8	8.4	5.4
12	その他	0.1	0.7	0.6	0.6
13	参加したいと思う活動はない	47.2	41.2	42.2	41.9
14	わからない	9.0	4.7	4.5	9.6

図6 参加してもよい宗教団体の実施する社会貢献活動（％）



この設問については選択肢を新設した。子育て支援に関する活動を冒頭に配置し、「子育て広場の手伝い」と「見守り活動」という実践を紹介した。また、地域の防災訓練については、「地元の寺院などが主催する」の部分をカットした。

「信者・会員になることを前提としないならば、参加してもよいと思う社会貢献活動」という前提があり、かつ複数回答であるので答えやすいはずだが、全体としては2016年調査にも増して低調な結果となった。しかし、この数値の増加は、宗教団体の実施する社会貢献活動への拒否感の現れであるとは必ずしもいえない。やや古いデータとなるが、ISSP国際比較調査「市民意識」に関するレポート<sup>1</sup>では、政治的・社会的活動について「今までしたことがないし、今後もしない」と答えた人が各項目で増加していることが報告される。特に本調査と関連する「社会、政治活動のための寄付や募金活動」はもっとも増加率が高い（2004年調査：38%→2014年調査：52%）。社会的活動への意欲の低下は日本社会全体として広がっており、本調査に現れた数値も宗教団体というよりは、一般的な傾向として考えることもできる。

「参加したいと思う活動はない」は、2016年調査（41.2）より6.0ポイント増加して47.2である。「参加してもよい」については、「河川や海岸などの美化活動」は19.2から14.2へ5.0ポイント減、「駅や道路など地域の清掃活動」は17.3から11.7の5.6ポイント減、「植林など緑化、温暖化防止などの環境に関する活動」は14.9から9.0へ5.9ポイント減であった。災害時のボランティア活動は依然、20.6でもっとも高いが、2016年調査の26.4から5.8も減らしている。「国内外の被災者・難民への支援物資の募集や義援金の募金活動」は8.8から4.5へ、「地元に住居する外国人との交流活動」も5.8から2.7へと約半減している。外国人や国内外の難民・被災者への関心低下は2025年7月の参院選（参政党の躍進）と平行な関係があるように見える。

他方、「生活貧窮者への食事の炊き出し」は10.1から9.0で1.1ポイント減なので減少率は低い。「高齢者への訪問介護」も10.6から8.8で1.8ポイント減、「病院や介護施設でのボランティア活動」は10.9から8.7の2.2ポイント減なので同様に減少率は低い。

例外的に大きくスコアが増加したのが「地域の防災訓練」である。2016年調査では5.0であったものが、今回の調査では12.9へと7.9ポイント増加している。おそらく「地元の寺院などが主催する」の部分を選択肢の文章から削ったことが影響しているのだろう。寡聞にして寺院主催の防災訓練はあまり聞かないので、回答者も答えやすくなったのかもしれない。なお、「わからない」のスコアも4.7から9.0へ増加していることも付言しておきたい。

全体的に低下傾向にあるが、災害や子育てなど生活に直結する分野では相対的に高い。宗教団体はこうした分野での参加機会を提示することで、社会との接点を広げられる可能性がある。

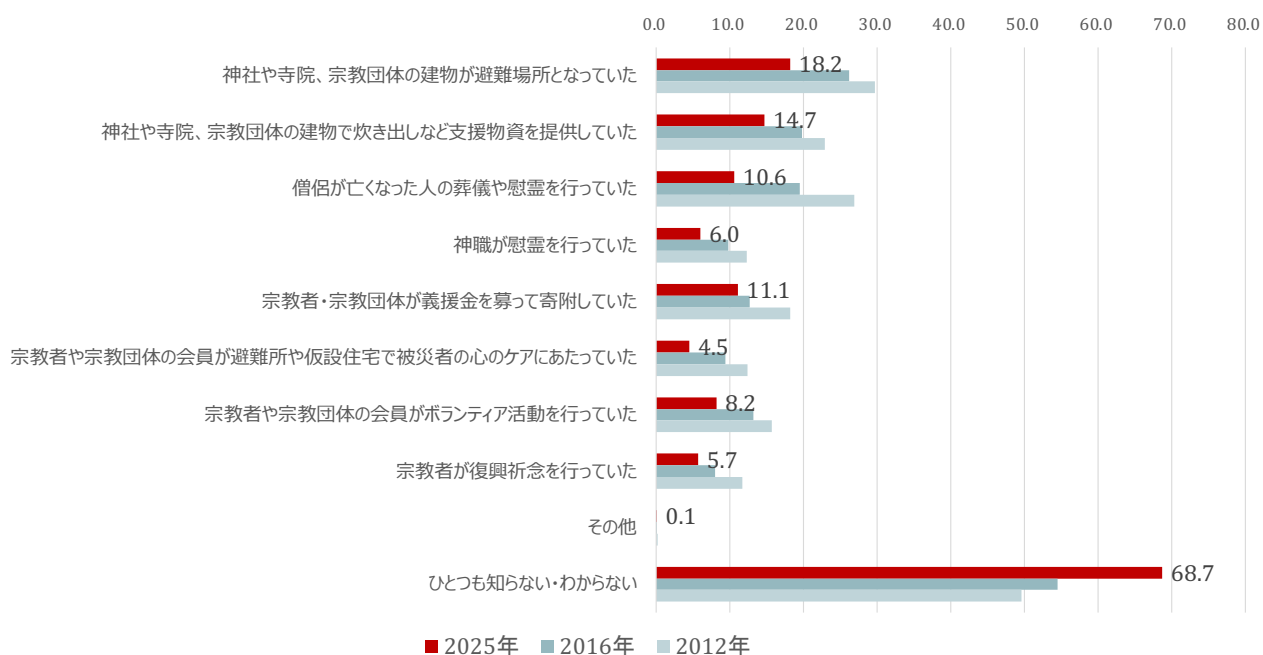
<sup>1</sup> 小林利行（2015）「低下する日本人の政治的・社会的活動意欲とその背景～ISSP国際比較調査『市民意識』・日本の結果から～」『放送研究と調査』2015年1月号、22 - 41。

## 大規模災害発生時に、宗教団体が行った支援活動は？

問7 1995年の阪神・淡路大震災、2011年の東日本大震災、昨年の能登半島地震をはじめ、日本列島では数々の大災害が発生しています。こうしたときに、多くの宗教者・宗教団体がさまざまな支援活動を行ってきました。あなたが知っている活動がありましたら、この中からいくつでも選んでください。(複数回答)  
(%)

		2025年	2016年	2012年
1	神社や寺院、宗教団体の建物が避難場所となっていた	18.2	26.2	29.7
2	神社や寺院、宗教団体の建物で炊き出しなど支援物資を提供していた	14.7	19.8	22.9
3	僧侶が亡くなった人の葬儀や慰霊を行っていた	10.6	19.5	26.9
4	神職が慰霊を行っていた	6.0	9.8	12.3
5	宗教者・宗教団体が義援金を募って寄附していた	11.1	12.7	18.2
6	宗教者や宗教団体の会員が避難所や仮設住宅で被災者の心のケアにあっていた	4.5	9.4	12.4
7	宗教者や宗教団体の会員がボランティア活動を行っていた	8.2	13.2	15.7
8	宗教者が復興祈念を行っていた	5.7	8.0	11.7
9	その他	0.1	0.1	0.2
10	ひとつも知らない・わからない → (問8へ)	68.7	54.5	49.6

図7-1 大規模災害時での支援活動の認知 (%)



この設問では、選択肢5を「宗教者が義援金を募って寄附していた」を「宗教者・宗教団体が義援金を募って寄附していた」に、選択肢6を「宗教者が避難所や仮設住宅で被災者の心のケアにあっていた」を「宗教者や宗教団体の会員が避難所や仮設住宅で被災者の心のケアにあっていた」に、選択肢7を「宗教団体の信

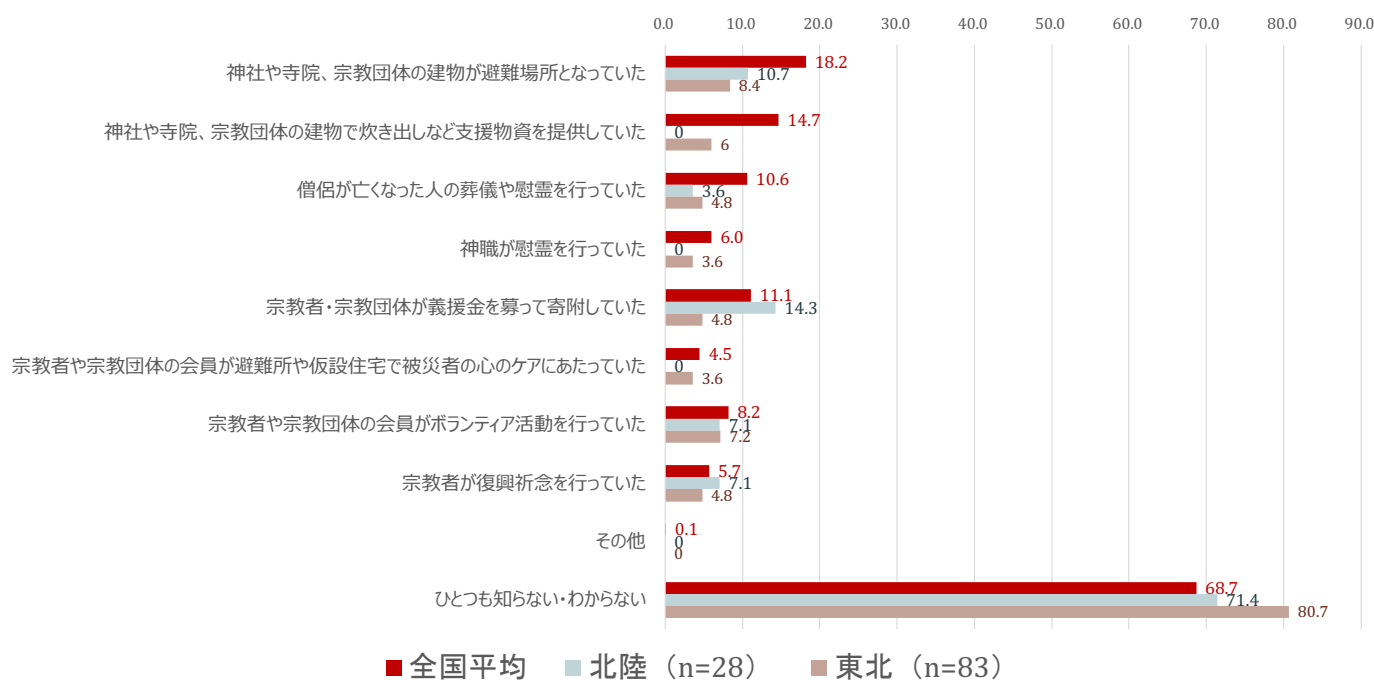
者がボランティア活動を行っていた」から「宗教者や宗教団体の会員がボランティア活動を行っていた」にそれぞれ修正している。大きな文言の修正ではないので、このまま経年変化を確認したい。

今回の調査でもっとも回答率の高かった選択肢は「ひとつも知らない・わからない」で、68.7%だった。他の選択肢はすべて2割を下回った。

東日本大震災の翌年に行われた2012年調査では、「ひとつも知らない・わからない」は49.6%であり、約半数は何かしらの宗教者の支援活動を知っていた状況があった。しかし2025年時点では、宗教者・宗教団体による災害時の支援活動の認知度は低下傾向にある。

2024年の元旦に発生した能登半島地震でも、多くの宗教者や宗教団体は迅速に支援体制を整え、支援物資の供給を行っていた。2024年2月9日付けの『文化時報』では、真宗大谷派をはじめとして各宗教組織は社会福祉協議会よりも個別の動きが早く、宗教者がいなければより深刻な状況だったのではないかと評価する大阪大学大学院教授の稲場圭信氏のコメントを紹介している<sup>2</sup>。しかし、能登半島地震における宗教者・宗教団体の支援活動は一般にはあまり知られていないようである。母数が28とサンプルサイズが小さいため参考程度にはなるが、能登半島地震の被災地域である「北陸」と全国平均を比較すると、「義援金」と「復興祈念」がわずかに増えるが、「わからない」も同様にやや多い。なお、東日本大震災の被災地を含む「東北」も確認すると、すべての項目で全国平均を下回っている。2012年調査の報告書でも「東北」が他の地域の回答を上回っていたのは「神職が慰霊を行っていた」だけであり、被災地においてもこうした活動を知っている、あるいは関心は高くなかったのが実情であると記されている<sup>3</sup>。

図 7-2 大規模災害時の支援活動の認知：全国平均・北陸・東北（％）



宗教者・宗教団体の行ってきた大規模災害時の支援活動の一般認知度は、被災地域においても高くはない。活動実態と社会的認知の間にはギャップがある。しかしながら先にも記したように、多くの宗教者・宗教団体はこれまでの経験を活かし、災害発生直後から迅速な支援体制を構築し、行政からも信頼される動きを能登半島地震では展開したことは付記しておきたい。

<sup>2</sup> 東島宗孝（2024）「能登半島地震に対する宗教界の動き」『ラク便り』102号、31頁。

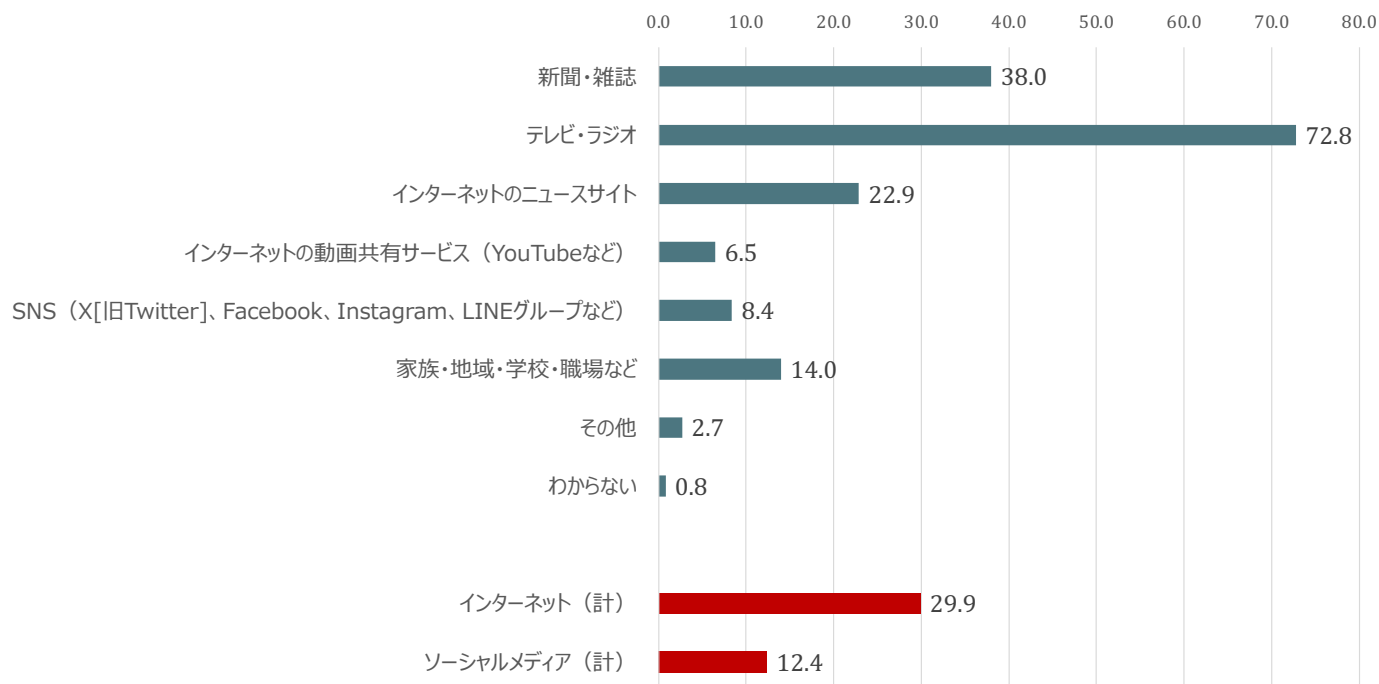
<sup>3</sup> 公益財団法人庭野平和財団（2013）『『宗教団体の社会貢献活動』報告書（2012年4月実施）』13頁。

## 大規模災害発生時の宗教者・宗教団体の活動を、何で知ったか？

問7 (SQ) では、いまお答えいただいた宗教者・宗教団体の活動を、なにで知りましたか。この中からあてはまるものをいくつでも選んでください。(複数回答) (%)

	2025年
1 新聞・雑誌	38.0
2 テレビ・ラジオ	72.8
3 インターネットのニュースサイト	22.9
4 インターネットの動画共有サービス (YouTube など)	6.5
5 SNS (X[旧 Twitter]、Facebook、Instagram、LINE グループなど)	8.4
6 家族・地域・学校・職場など	14.0
7 その他	2.7
8 わからない	0.8
インターネット (計)	29.9
ソーシャルメディア (計)	12.4

図7 (SQ) 支援活動を知った媒体 (%)



問7で、宗教者・宗教団体が行う様々な支援活動を知っていると回答した者に対して、どのような媒体を通じて知ったかを尋ねた。2012年と2016年調査でも同様の質問を設定しているが、2025年調査ではインターネットやソーシャルメディアをめぐる状況の変化を踏まえ、選択肢を細分化している。

もっとも高かったのは「テレビ・ラジオ」で72.8%、次いで「新聞・雑誌」が38.0%であった。2016年調査では「テレビ」80.8%、「新聞」49.9%、2012年調査では「テレビ」81.8%、「新聞」51.9%であり、いずれ

も低下傾向にあるとはいえ、宗教者・宗教団体の支援活動を知る経路としては依然としてマスメディア報道が大半を占める。

「インターネット」で知ったとの回答は2012年12.9%、2016年16.9%であったが、2025調査ではインターネットによる認知を合計すると29.9%に上昇した。とはいえ「新聞・雑誌」の38.0%には及ばない。ソーシャルメディアによる認知は12.4%に留まる。自ら検索・選択して情報を得る能動的情報収集型媒体（プル型メディア）による認知は3割未満にとどまり、依然として受動的に情報が届くマスメディア（プッシュ型メディア）への依存度が高いことがわかる。能動的な情報探索による認知の広がり、現時点では限定的であるといえる。

	該当者 (n=371)	20代 (n=21)	30代 (n=38)	40代 (n=46)	50代 (n=76)	60代 (n=67)	70歳以上 (n=123)
新聞・雑誌	38.0	19.0	18.4	32.6	27.6	53.7	47.2
テレビ・ラジオ	72.8	66.7	55.3	67.4	71.1	83.6	76.4
インターネットのニュースサイト	22.9	42.9	28.9	32.6	34.2	13.4	12.2
インターネットの動画共有サービス (YouTube など)	6.5	4.8	5.3	4.3	7.9	10.4	4.9
SNS (X、Facebook、LINE グループなど)	8.4	19.0	18.4	13.0	7.9	4.5	4.1
家族・地域・学校・職場など	14.0	9.5	13.2	13.0	10.5	16.4	16.3
その他	2.7	0.0	5.3	2.2	3.9	1.5	2.4
わからない	0.8	0.0	2.6	0.0	1.3	1.5	0
インターネット (計)	29.9	61.9	42.1	39.1	40.8	23.9	13.8
ソーシャルメディア (計)	12.4	19.0	21.1	15.2	11.8	14.9	6.5

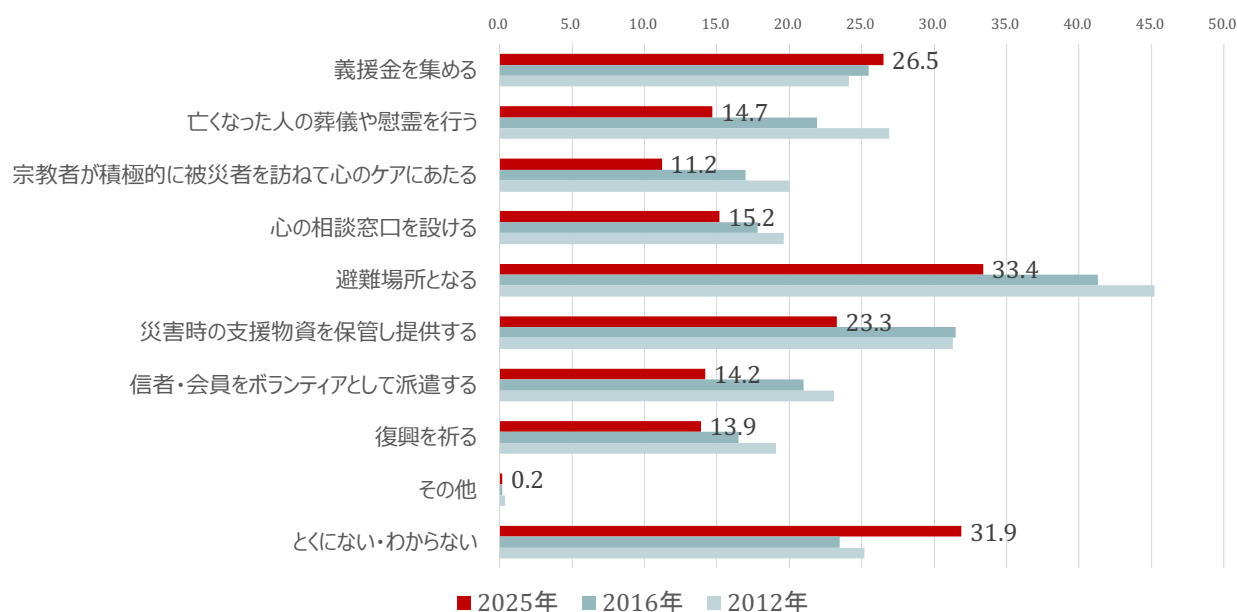
年代によって情報源の構成は異なり、若年層ほどインターネットやSNSを活用し、高齢層ほど新聞・テレビ・ラジオなどの既存媒体を利用する傾向がみられる。動画共有サービスはむしろ若年層のほうが低い。

## 大規模な災害を起きたときに、宗教者・宗教団体はどのような活動を行ったほうがよい？

問 8 大規模な災害が起きたときに、宗教者や宗教団体はどのような活動を行ったほうがよいと思いますか。この中からいくつでも選んでください。(複数回答) (%)

		2025年	2016年	2012年
1	義援金を集める	26.5	25.5	24.1
2	亡くなった人の葬儀や慰霊を行う	14.7	21.9	26.9
3	宗教者が積極的に被災者を訪ねて心のケアにあたる	11.2	17.0	20.0
4	心の相談窓口を設ける	15.2	17.8	19.6
5	避難場所となる	33.4	41.3	45.2
6	災害時の支援物資を保管し提供する	23.3	31.5	31.3
7	信者・会員をボランティアとして派遣する	14.2	21.0	23.1
8	復興を祈る	13.9	16.5	19.1
9	その他	0.2	0.2	0.4
10	とくにない・わからない	31.9	23.5	25.2

図 8 災害時に宗教者・宗教団体が行うべき活動



この設問は、2012・2016年調査に微修正を加えている。2012・2016年の選択肢1「避難場所や支援物資の集積所となる」は、選択肢2「災害時の支援物資を保管し提供する」と一部重複するので「避難場所となる」に変更した。また選択肢の並び順も一部変更している。

宗教者や宗教団体がおこなったほうがよい活動としてもっとも高かったのは「避難所となる」(33.4%)であった。「義援金を集める」(26.5%)、「災害時の支援物資を保管し提供する」(23.3%)と続くが、これは宗教団体のハード面(組織力や施設)を活かす活動であろう。

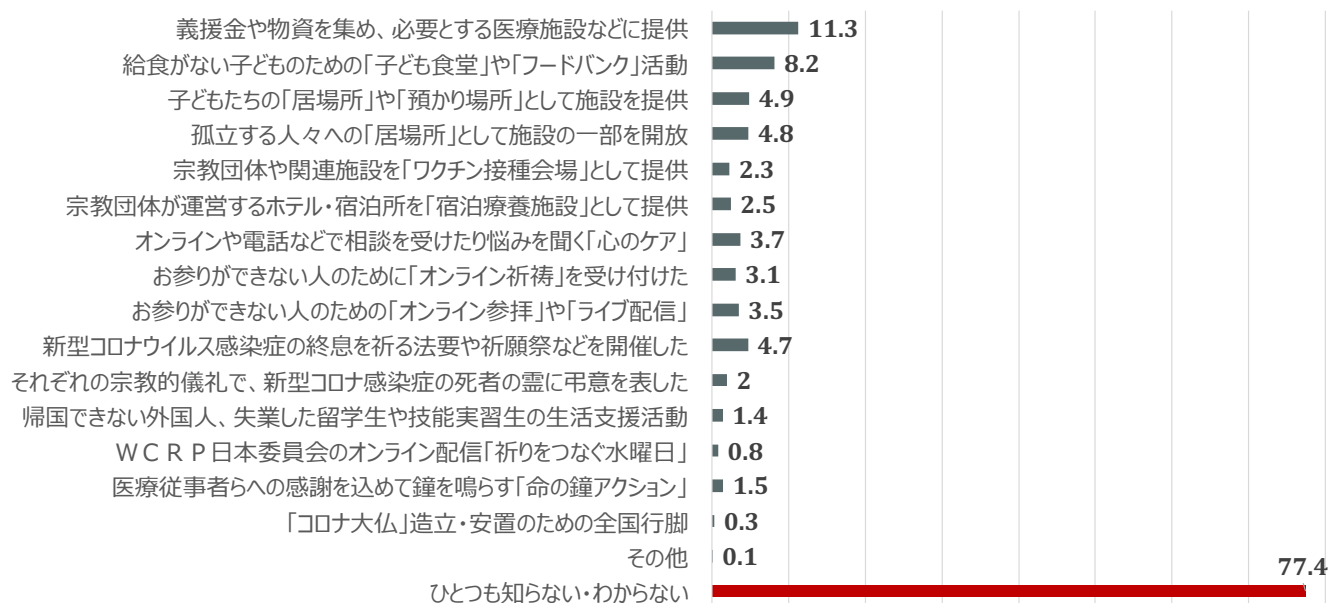
直接宗教活動に関わる選択肢はどうだろうか。「亡くなった人の葬儀や慰霊を行う」(14.7%)、「心のケア」(11.2%)、「心の相談窓口」(15.2%)、「復興を祈る」(13.9%)といずれも2割以下であった。

## コロナ禍における宗教者・宗教団体の活動の認知

問9 (SQ) 2020年以降、新型コロナウイルス感染症の流行により、人びとにはさまざまな行動制限、活動自粛が課せられました。そうした中で、宗教者・宗教団体はさまざまな支援活動を行ってきました。コロナ禍で宗教者・宗教団体が行ってきた社会貢献活動の中で、知っているものがありますか。この中からあてはまるものをいくつかでもあげてください。(複数回答)(%)

1	義援金や物資(消毒液やマスクなど)を集め、必要とする医療施設などに提供していた	11.3
2	臨時休校・休園で給食がなくなった子どものための「子ども食堂」や「フードバンク」活動を行っていた	8.2
3	臨時休校・休園となった子どもたちの「居場所」や「預かり場所」として施設を提供していた	4.9
4	孤立する人々への「居場所」として施設の一部を開放していた	4.8
5	宗教団体や関連施設を「ワクチン接種会場」として提供した	2.3
6	宗教団体や関連施設が運営するホテル・宿泊場を「宿泊療法施設」として提供していた	2.5
7	オンラインや電話などで相談を受けたり、悩みを聞いたりする「心のケア」を行っていた	3.7
8	お参りができない人のために「オンライン祈祷」を受け付けた	3.1
9	お参りができない人のために「オンライン参拝」をできるようにしたり、宗教施設の様子や儀礼・儀式の様子などを「ライブ配信」した	3.5
10	新型コロナウイルス感染症の終息を祈る法要や祈願祭などを開催した	4.7
11	それぞれの宗教的儀礼に則って、新型コロナウイルス感染症で亡くなった人々の霊に弔意を示した	2.0
12	母国に帰れなくなった外国人、失業して住む場所を失った留学生や技能実習生を受け入れ、生活支援活動を行っていた	1.4
13	世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会が、各地の宗教者をつなぎ、励ましのメッセージを届け、祈りを捧げるオンライン配信「祈りをつなぐ水曜日」を行った	0.8
14	医療従事者らへの感謝を込めて鐘を鳴らす「命の鐘アクション」に多くの宗教団体が賛同し、参加した	1.5
15	新型コロナウイルス感染症の終息祈願と人々の心を前向きにするためのシンボルとして、「コロナ大仏」造立・安置のための全国行脚が行われた	0.3
16	その他	0.1
17	ひとつも知らない・わからない	77.4

図9 コロナ禍における活動 (%)



新型コロナウイルス感染症の世界的拡大とそれによる社会不安を踏まえ、2025年調査ではコロナ禍における宗教者の社会貢献活動の認知を尋ねる質問を加えた。

コロナ禍における宗教者・宗教団体の活動の一般認知度は低く、「ひとつも知らない・わからない」が77.4%と最多であった。「義援金や物資（消毒液やマスクなど）を集め、必要とする医療施設などに提供していた」11.3%、「臨時休校・休園で給食がなくなった子どものための『子ども食堂』や『フードバンク』活動を行っていた」8.2%と約1割ではあるが、他は5%未満となった。「祈りをつなぐ水曜日」0.8%、「命の鐘アクション」1.5%、「コロナ大仏」0.3%など象徴的活動の認知度は特に低い。一方で「収束を祈る法要や祈願祭」は4.7%と、決して多数とはいえないものの、約20人に1人は認知していたことは記録しておきたい。

ところでこの設問では、年代別に確認すると興味深い結果が得られた。次の表と図は各年代ごとの認知度（図9-2は「ひとつも知らない・わからない」を除く）である。

	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
義援金や物資（消毒液やマスクなど）を集め、必要とする医療施設などに提供していた	5.1	15.5	7.6	12.7	11.3	12.8
臨時休校・休園で給食がなくなった子どものための「子ども食堂」や「フードバンク」活動を行っていた	3.1	14.6	7.6	7.3	7.2	9.0
臨時休校・休園となった子どもたちの「居場所」や「預かり場所」として施設を提供していた	4.1	5.8	4.9	3.4	4.1	6.0
孤立する人々への「居場所」として施設の一部を開放していた	3.1	3.9	4.3	5.4	4.6	5.5
宗教団体や関連施設を「ワクチン接種会場」として提供した	2.0	3.9	2.7	2.4	1.0	2.3
宗教団体や関連施設が運営するホテル・宿泊場を「宿泊療養施設」として提供していた	0.0	2.9	2.2	2.0	4.1	2.8
オンラインや電話などで相談を受けたり、悩みを聞いたりする「心のケア」を行っていた	2.0	2.9	3.8	2.4	4.6	4.5
お参りができない人のために「オンライン祈祷」を受け付けた	3.1	3.9	3.8	4.9	3.6	1.5
お参りができない人のために「オンライン参拝」をできるようにしたり、宗教施設の様子や儀礼・儀式の様子などを「ライブ配信」した	4.1	5.8	5.4	3.9	2.6	2.3
新型コロナウイルス感染症の終息を祈る法要や祈願祭などを開催した	5.1	3.9	4.9	5.4	4.6	4.5
それぞれの宗教的儀礼に則って、新型コロナウイルス感染症で亡くなった人々の霊に弔意を示した	2.0	1.9	2.7	3.4	1.0	1.5
母国に帰れなくなった外国人、失業して住む場所を失った留学生や技能実習生を受け入れ、生活支援活動を行っていた	0.0	1.9	0.5	2.0	1.0	1.8
世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会が、各地の宗教者をつなぎ、励ましのメッセージを届け、祈りを捧げるオンライン配信「祈りをつなぐ水曜日」を行った	0.0	0.0	0.5	0.5	1.5	1.3
医療従事者らへの感謝を込めて鐘を鳴らす「命の鐘アクション」に多くの宗教団体が賛同し、参加した	0.0	1.0	1.1	3.4	1.0	1.5
新型コロナウイルス感染症の終息祈願と人々の心を前向きにするためのシンボルとして、「コロナ大仏」造立・安置のための全国行脚が行われた	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0.3
その他	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0
ひとつも知らない・わからない	86.7	72.8	81.5	71.2	80.0	76.2

図 9-2 コロナ禍における活動・年代別 (%)

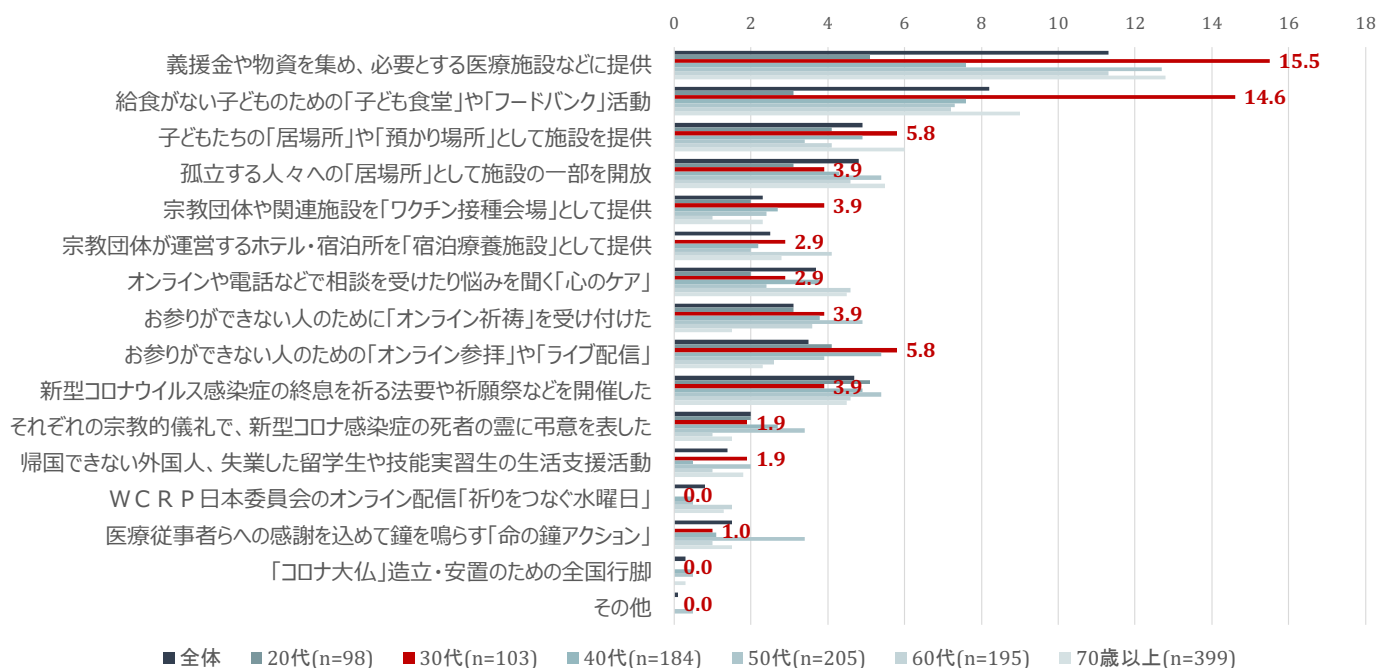


図 9-2 は特徴的な回答傾向が見られた 30 代を赤色で、全体を黄色で示している。30 代はそれぞれの活動に対する認知度が高いものが目立つ。特に「臨時休校・休園で給食がなくなった子どものための『子ども食堂』や『フードバンク』活動を行っていた」は全体が 8.2% だったのに対し、14.6% と他の年代に比べて約 2 倍となっている。こうした背景には、30 代はいわゆる子育て世代であり、新型コロナウイルス感染拡大による臨時休校や給食停止の影響を直接受けたことが関係していると考えられる。また、こうした取り組みは、認定 NPO 法人「おてらおやつくらぶ」の活動や、各宗教施設で行われていた「子ども食堂」の開催など、平時から行われていた活動と地続きでもある。

宗教者・宗教団体のコロナ禍での活動は社会全体には十分認知されていないが、子育て世代など直接の受益者層には比較的届いていたことが推察される。このことは、活動内容が生活上の切実な課題と結びつくほど認知されやすいことを示唆している。

## 宗教の大切さ・信仰・加入について

問 10 あなたは、宗教は現在の日本社会や個人にとってどの程度大切だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。(%)

		2025年	2016年	2012年	2008年
1	非常に大切だ	6.3	7.8	7.3	11.2
2	まあ大切だ	38.9	50.3	47.2	42.3
3	あまり大切ではない	29.5	24.5	26.8	24.8
4	まったく大切ではない	9.5	5.5	6.4	7.4
5	わからない	15.7	12.0	12.3	14.3
	大切だ (計)	45.3	58.1	54.5	53.5
	大切ではない (計)	39.0	30.0	33.2	32.2

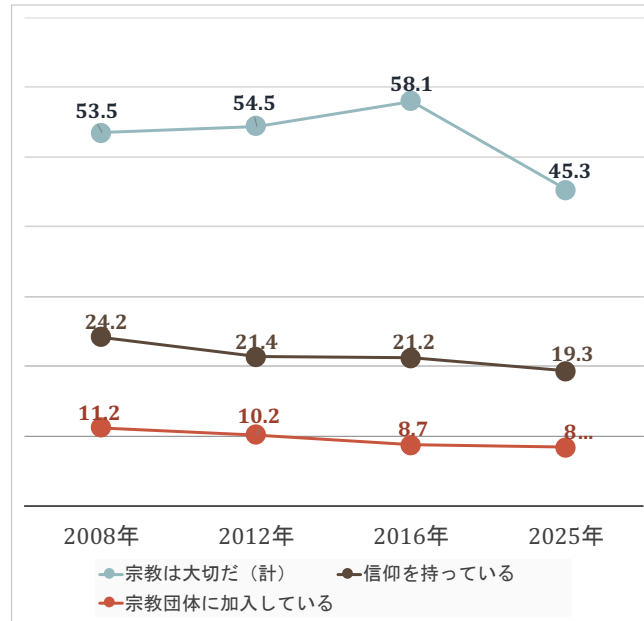
問 11 あなたは、何か信仰をもっていますか。(%)

		2025年	2016年	2012年	2008年
1	持っている	19.3	21.2	21.4	24.2
2	持っていない	77.1	76.5	76.5	73.7
3	わからない	1.7	1.4	0.9	1.1
4	答えたくない	1.9	0.9	1.1	1.1

問 12 あなたは、特定の宗教団体に入っていますか。(%)

		2025年	2016年	2012年	2008年
1	入っている	8.4	8.7	10.2	11.2
2	入っていない	88.2	89.5	88.1	87.2
3	わからない	1.4	0.8	0.6	0.8
4	答えたくない	2.0	1.0	1.1	0.8

図 10～12 宗教団体の大切さ・信仰・加入について (%)



問 10 から問 12 まで、宗教に関する一般的な質問を行った。

宗教を「大切だ」とする人は 2016 年調査では増加していたものの、2025 年調査ははじめて合算で 5 割を下回った。信仰の保持と宗教団体への帰属のゆるやかな減少傾向は続いている。

## 資料編

質問紙と単純集計	29
クロス集計表	35

宗教もしくは宗教団体の社会貢献、公共性に関する調査

—宗教団体の行う社会貢献活動の認知と評価—

問1. あなたは、宗教者・宗教団体が、女性や子どものための学校教育活動、弱者のための病院運営などの社会貢献活動を長い間行ってきたことを知っていますか。(%)

1 知っている	29.6%
2 知らない	62.7%
3 わからない	7.8%

問2. あなたは、ここにあげるような、宗教者・宗教団体の行っている社会貢献活動の中で、知っているものがありますか。この中からあてはまるものをいくつでもあげてください。(複数回答)(%)

1 (ア) 小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校などの教育機関の経営	32.8%
2 (イ) 児童の福祉の増進に関する事業(保育所、幼稚園、児童養護施設など)	20.3%
3 (ウ) 老人の扶助を目的とした事業(養護老人ホーム、特別養護老人ホームなど)	11.5%
4 (エ) 身体障害者更生施設などの経営、身体障害者の扶助を目的とした事業	7.3%
5 (オ) 婦人保護施設の経営、困難な状況に置かれた女性の扶助を目的とした事業	6.1%
6 (カ) 診療所、病院など医療機関の経営	15.2%
7 (キ) 民生委員、 <small>きょうかいし</small> 教誨師、 <small>とくし</small> 篤志面接員、 <small>ほごし</small> 保護司などの活動	10.5%
8 (ク) 伝統文化、地域文化などの保存活動	7.6%
9 (ケ) 自殺防止に関わる活動	5.2%
10 (コ) 災害時のボランティア活動	14.9%
11 (サ) 緑化、温暖化の防止など環境に関する活動	5.2%
12 (シ) 在留外国人の生活支援や交流活動	5.1%
13 (ス) 海外の教育、医療等の援助活動	6.7%
14 (セ) 海外の紛争地域などでの救助活動、難民支援	5.4%
15 その他 ( )	0.0%
16 どれも知らない	47.4%
17 わからない	7.3%

問3. あなたは、宗教者・宗教団体が、このような社会貢献活動を行ってきたことに対してどのように考えますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。(%)

- |   |       |
|---|-------|
| 1 (ア) たいへん立派な活動で、もっと活発に行ってほしい                   | 15.6% |
| 2 (イ) 宗教者・宗教団体がこうした活動を行うのは、宗教活動の一環として当然である      | 8.6%  |
| 3 (ウ) 宗教者・宗教団体が勝手にやっていることで、やってもやらなくてもどちらでもかまわない | 25.0% |
| 4 (エ) 宗教者・宗教団体がよい評判を得ようとしてやっていることで、やめたほうがよい     | 5.7%  |
| 5 その他 ( )                                       | 0.6%  |
| 6 宗教者・宗教団体がこのような社会活動を行っていたことを知らなかった             | 24.3% |
| 7 わからない   | 20.1% |

問4. あなたは、宗教者・宗教団体が行う活動として、どのような活動を期待しますか。この中からあてはまるものをいくつでも選んでください。(複数回答)(%)

- |   |       |
|---|-------|
| 1 (ア) 教育に関する活動(学校法人の経営など)                 | 14.4% |
| 2 (イ) 福祉に関する活動(保育所・児童養護施設の運営や社会的弱者への援助など) | 22.3% |
| 3 (ウ) 医療に関する活動(グリーンケア、終末期医療、カウンセリングなど)    | 13.8% |
| 4 (エ) 平和の増進に関する活動                         | 25.1% |
| 5 (オ) 海外の開発、教育、医療などの援助活動                  | 7.8%  |
| 6 (カ) 環境問題への提言や取組み                        | 11.8% |
| 7 (キ) 伝統文化の保存・維持                          | 7.2%  |
| 8 (ク) 災害時のボランティア活動                        | 25.4% |
| 9 (ケ) 政治への積極的な参加や発言                       | 2.8%  |
| 10 その他 ( )                                | 0.3%  |
| 11 期待する活動はない                              | 35.8% |
| 12 わからない                                  | 10.8% |

問5. 多くの宗教者・宗教団体は、<sup>ひまいざん</sup>比叡山宗教サミットや世界宗教者会議(WCRP)などを定期的に開催して、世界平和について働きかけを行っています。あなたは、このことについてどう思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。(複数回答)(%)

- |   |       |
|---|-------|
| 1 (ア) 宗教者・宗教団体の行う平和活動は、直接的に、世界平和に貢献する可能性がある     | 9.3%  |
| 2 (イ) 宗教者・宗教団体の行う平和活動は、間接的にはあるが、世界平和に貢献する可能性がある | 21.1% |
| 3 (ウ) 宗教者・宗教団体の行う平和活動は、世界平和にはほとんど影響を与えないだろう     | 15.6% |
| 4 (エ) 宗教者・宗教団体の行う平和活動は、世界平和にかえって混乱を生じさせる        | 8.7%  |
| 5 その他 ( )                                       | 0.6%  |
| 6 わからない   | 44.7% |

問6. 宗教団体や関連団体、もしくは宗教団体の連合体が実施する社会貢献活動で、信者・会員になることを前提としないならば、参加してもよいと思う社会貢献活動はどのようなものでしょうか。この中からあてはまるものをいくつでも選んでください。(複数回答)(%)

1	(ア) 子育て広場の手伝い、子どもの見守り活動	16.0%
2	(イ) 河川や海岸などの美化活動	14.2%
3	(ウ) 駅や道路など地域の清掃活動	11.7%
4	(エ) 植林など緑化、温暖化防止などの環境に関する活動	9.0%
5	(オ) 生活貧窮者 <sup>ひんきゆうしや</sup> への食事の炊き出し	9.0%
6	(カ) 一人住まいの高齢者への訪問介護	8.8%
7	(キ) 病院や介護施設でのボランティア活動	8.7%
8	(ク) 地域の防災訓練	12.9%
9	(ケ) 災害時のボランティア活動	20.6%
10	(コ) 国内外の被災者・難民への支援物資の募集や義援金の募金活動	4.5%
11	(サ) 地元に住居する外国人との交流活動	2.7%
12	その他 ( )	0.1%
13	参加したいと思う活動はない	47.2%
14	わからない	9.0%

問7. 1995年の阪神・淡路大震災、2011年の東日本大震災、昨年の能登半島地震をはじめ、日本列島では数々の大災害が発生しています。こうしたときに、多くの宗教者・宗教団体がさまざまな支援活動を行ってきました。あなたが知っている活動がありましたら、この中からいくつでも選んでください。(複数回答)(%)

1	(ア) 神社や寺院、宗教団体の建物が避難場所となっていた	18.2%
2	(イ) 神社や寺院、宗教団体の建物で炊き出しなど支援物資を提供していた	14.7%
3	(ウ) 僧侶が亡くなった人の葬儀や慰霊を行っていた	10.6%
4	(エ) 神職が慰霊を行っていた	6.0%
5	(オ) 宗教者・宗教団体が義援金を募って寄附していた	11.1%
6	(カ) 宗教者や宗教団体の会員が避難所や仮設住宅で被災者の心のケアにあたっていた	4.5%
7	(キ) 宗教者や宗教団体の会員がボランティア活動を行っていた	8.2%
8	(ク) 宗教者が復興祈念を行っていた	5.7%
9	その他 ( )	0.1%
10	ひとつも知らない・わからない → (Q8へ)	68.7%

問7 (SQ) .では、いまお答えいただいた宗教者・宗教団体の活動を、なにで知りましたか。

この中からあてはまるものをいくつでも選んでください。(複数回答)(%)

1 (ア) 新聞・雑誌	38.0%
2 (イ) テレビ・ラジオ	72.8%
3 (ウ) インターネットのニュースサイト	22.9%
4 (エ) インターネットの動画共有サービス (YouTube など)	6.5%
5 (オ) SNS (X[旧 Twitter]、Facebook、Instagram、LINE グループなど)	8.4%
6 (カ) 家族・地域・学校・職場など	14.0%
7 (キ) その他 ( )	2.7%
8 わからない	0.8%

問8. 大規模な災害が起きたときに、宗教者や宗教団体はどのような活動を行ったほうがよいと思いますか。この中からいくつでも選んでください。(複数回答)(%)

1 (ア) 義援金を集める	26.5%
2 (イ) 亡くなった人の葬儀や慰霊を行う	14.7%
3 (ウ) 宗教者が積極的に被災者を訪ねて心のケアにあたる	11.2%
4 (エ) 心の相談窓口を設ける	15.2%
5 (オ) 避難場所となる	33.4%
6 (カ) 災害時の支援物資を保管し提供する	23.3%
7 (キ) 信者・会員をボランティアとして派遣する	14.2%
8 (ク) 復興を祈る	13.9%
9 その他 ( )	0.2%
10 とくにない・わからない	31.9%

問9 (SQ). 2020年以降、新型コロナウイルス感染症の流行により、人びとにはさまざまな行動制限、活動自粛が課せられました。そうした中で、宗教者・宗教団体はさまざまな支援活動を行ってきました。コロナ禍で宗教者・宗教団体が行ってきた社会貢献活動の中で、知っているものがありますか。この中からあてはまるものをいくつかあげてください。(M.A.)

1 (ア) 義援金や物資(消毒液やマスクなど)を集め、必要とする医療施設などに提供していた	11.3%
2 (イ) 臨時休校・休園で給食がなくなった子どものための「子ども食堂」や「フードバンク」活動を行っていた	8.2%
3 (ウ) 臨時休校・休園となった子どもたちの「居場所」や「預かり場所」として施設を提供していた	4.9%
4 (エ) 孤立する人々への「居場所」として施設の一部を開放していた	4.8%
5 (オ) 宗教団体や関連施設を「ワクチン接種会場」として提供した	2.3%
6 (カ) 宗教団体や関連施設が運営するホテル・宿泊場を「宿泊療法施設」として提供していた	2.5%
7 (キ) オンラインや電話などで相談を受けたり、悩みを聞いたりする「心のケア」を行っていた	3.7%
8 (ク) お参りができない人のために「オンライン祈祷」を受け付けた	3.1%
9 (ケ) お参りができない人のために「オンライン参拝」をできるようにしたり、宗教施設の様子や儀礼・儀式の様子などを「ライブ配信」した	3.5%
10 (コ) 新型コロナウイルス感染症の終息を祈る法要や祈願祭などを開催した	4.7%
11 (サ) それぞれの宗教的儀礼に則って、新型コロナウイルス感染症で亡くなった人々の霊に弔意を表した	2.0%
12 (シ) 母国に帰れなくなった外国人、失業して住む場所を失った留学生や技能実習生を受け入れ、生活支援活動を行っていた	1.4%
13 (ス) 世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会が、各地の宗教者をつなぎ、励ましのメッセージを届け、祈りを捧げるオンライン配信「祈りをつなぐ水曜日」を行った	0.8%
14 (セ) 医療従事者らへの感謝を込めて鐘を鳴らす「命の鐘アクション」に多くの宗教団体が賛同し、参加した	1.5%
15 (ソ) 新型コロナウイルス感染症の終息祈願と人々の心を前向きにするためのシンボルとして、「コロナ大仏」造立・安置のための全国行脚が行われた	0.3%
16 その他( )	0.1%
17 ひとつも知らない・わからない	77.4%

問10. あなたは、宗教は現在の日本社会や個人にとってどの程度大切だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

1 非常に大切だ	6.3%
2 まあ大切だ	38.9%
3 あまり大切ではない	29.5%
4 まったく大切ではない	9.5%
5 わからない	15.7%

問11. あなたは、何か信仰を持っていますか。

1 持っている	19.3%
2 持っていない	77.1%
3 わからない	1.7%
4 答えたくない	1.9%

問12. あなたは、特定の宗教団体に入っていますか。

1 入っている	8.4%
2 入っていない	88.2%
3 わからない	1.4%
4 答えたくない	2.0%

宗教団体の社会貢献活動2025

[ ブロック別 ]

	総数	北海道	東北	関東	京浜	甲信越	北陸	東海	近畿	阪神	中国	四国	九州
総数	1184	4.1	7.0	21.7	11.1	4.9	2.4	12.3	9.8	6.2	5.7	3.0	12.0
[ ブロック別 ]													
北海道	48	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東北	83	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東	257	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京浜	131	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
甲信越	58	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
北陸	28	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
東海	146	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
近畿	116	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
阪神	73	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
中国	67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
四国	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
九州	142	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
[ 市規模別 ]													
21大都市	337	6.5	3.6	8.0	38.9	2.4	-	8.6	4.2	11.0	7.4	-	9.5
その他の市	729	1.8	7.8	29.4	-	5.5	3.2	14.3	12.1	4.9	5.1	4.0	12.1
郡・町村	118	11.0	11.9	13.6	-	8.5	4.2	11.0	11.9	-	4.2	5.1	18.6
[ 性別 ]													
男性	527	4.0	7.2	20.3	10.8	6.3	3.0	10.2	10.4	6.8	6.1	2.3	12.5
女性	657	4.1	6.8	22.8	11.3	3.8	1.8	14.0	9.3	5.6	5.3	3.5	11.6
[ 年代別 ]													
20代	98	6.1	8.2	24.5	13.3	4.1	1.0	11.2	9.2	5.1	5.1	2.0	10.2
30代	103	6.8	7.8	16.5	13.6	4.9	2.9	9.7	11.7	5.8	3.9	2.9	13.6
40代	184	4.3	3.3	22.8	10.3	4.9	3.8	16.3	12.5	4.3	4.9	1.6	10.9
50代	205	2.9	4.9	27.8	16.1	6.3	2.4	10.2	7.3	4.9	6.8	2.0	8.3
60代	195	5.6	6.7	16.9	9.2	5.1	2.1	13.8	11.3	6.2	5.6	3.1	14.4
70歳以上	399	2.5	9.5	21.1	8.5	4.3	2.0	11.8	8.8	8.0	6.0	4.3	13.3
[ 性・年代別 ]													
一男性一 20代	48	8.3	10.4	16.7	18.8	6.3	2.1	6.3	8.3	6.3	6.3	-	10.4
30代	61	8.2	9.8	16.4	4.9	6.6	3.3	9.8	11.5	6.6	6.6	3.3	13.1
40代	82	4.9	3.7	20.7	12.2	3.7	6.1	12.2	13.4	7.3	4.9	1.2	9.8
50代	81	3.7	4.9	24.7	17.3	8.6	3.7	8.6	8.6	4.9	6.2	1.2	7.4
60代	84	2.4	4.8	16.7	9.5	7.1	2.4	10.7	11.9	9.5	6.0	1.2	17.9
70歳以上	171	1.8	9.4	22.2	7.6	5.8	1.8	11.1	9.4	6.4	6.4	4.1	14.0
一女性一 20代	50	4.0	6.0	32.0	8.0	2.0	-	16.0	10.0	4.0	4.0	4.0	10.0
30代	42	4.8	4.8	16.7	26.2	2.4	2.4	9.5	11.9	4.8	-	2.4	14.3
40代	102	3.9	2.9	24.5	8.8	5.9	2.0	19.6	11.8	2.0	4.9	2.0	11.8
50代	124	2.4	4.8	29.8	15.3	4.8	1.6	11.3	6.5	4.8	7.3	2.4	8.9
60代	111	8.1	8.1	17.1	9.0	3.6	1.8	16.2	10.8	3.6	5.4	4.5	11.7
70歳以上	228	3.1	9.6	20.2	9.2	3.1	2.2	12.3	8.3	9.2	5.7	4.4	12.7

[ ブロック別 ]

	総 数	北海道	東 北	関 東	京 浜	甲信越	北 陸	東 海	近 畿	阪 神	中 国	四 国	九 州
総 数	1184	4.1	7.0	21.7	11.1	4.9	2.4	12.3	9.8	6.2	5.7	3.0	12.0
[ 職 業 別 ]													
農林漁業	17	-	23.5	5.9	-	17.6	-	29.4	5.9	-	5.9	-	11.8
商工・サービス業	145	2.8	3.4	24.8	14.5	3.4	1.4	8.3	10.3	11.0	5.5	2.8	11.7
事 務 職	205	5.9	5.9	22.4	18.5	4.4	4.9	12.2	6.3	3.4	4.9	0.5	10.7
労 務 職	257	4.3	7.0	24.9	8.6	5.8	3.5	12.1	9.3	4.3	5.8	2.7	11.7
自由業・管理職	26	3.8	3.8	15.4	15.4	15.4	-	19.2	15.4	7.7	3.8	-	-
無職の主婦	278	3.2	8.3	20.1	9.7	3.6	1.8	13.7	12.2	6.5	5.0	4.3	11.5
学 生	22	4.5	-	31.8	13.6	-	-	22.7	4.5	-	9.1	4.5	9.1
その他の無 職	234	4.3	8.5	18.4	6.8	5.1	0.9	10.7	10.3	8.1	6.8	4.3	15.8
[ 学 歴 別 ]													
(旧)小・高小 (新)中 学	68	4.4	19.1	8.8	2.9	-	1.5	25.0	8.8	7.4	2.9	7.4	11.8
(旧)中 学 (新)高 校	572	4.2	8.0	19.2	8.0	5.1	2.6	13.5	9.4	4.9	5.9	3.3	15.7
(旧)高専大 (新)短大・大学	538	3.9	4.5	25.5	15.2	5.4	2.2	9.7	10.4	7.4	5.6	2.0	8.2
不 明	6	-	-	66.7	16.7	-	-	-	-	-	16.7	-	-

[ 市郡規模別 ]

	総 数	21大都市	その他の市	郡・町村
総 数	1184	28.5	61.6	10.0
[ ブロック別 ]				
北 海 道	48	45.8	27.1	27.1
東 北	83	14.5	68.7	16.9
関 東	257	10.5	83.3	6.2
京 浜	131	100.0	-	-
甲 信 越	58	13.8	69.0	17.2
北 陸	28	-	82.1	17.9
東 海	146	19.9	71.2	8.9
近 畿	116	12.1	75.9	12.1
阪 神	73	50.7	49.3	-
中 国	67	37.3	55.2	7.5
四 国	35	-	82.9	17.1
九 州	142	22.5	62.0	15.5
[ 市郡規模別 ]				
21大都市	337	100.0	-	-
その他の市	729	-	100.0	-
郡・町 村	118	-	-	100.0
[ 性 別 ]				
男 性	527	29.0	61.5	9.5
女 性	657	28.0	61.6	10.4
[ 年 代 別 ]				
20代	98	39.8	57.1	3.1
30代	103	35.9	55.3	8.7
40代	184	27.7	66.8	5.4
50代	205	33.7	56.6	9.8
60代	195	24.1	64.6	11.3
70歳以上	399	23.6	62.9	13.5
[ 性・年代別 ]				
一男性一 20代	48	45.8	52.1	2.1
30代	61	31.1	55.7	13.1
40代	82	29.3	64.6	6.1
50代	81	29.6	59.3	11.1
60代	84	25.0	66.7	8.3
70歳以上	171	25.1	63.2	11.7
一女性一 20代	50	34.0	62.0	4.0
30代	42	42.9	54.8	2.4
40代	102	26.5	68.6	4.9
50代	124	36.3	54.8	8.9
60代	111	23.4	63.1	13.5
70歳以上	228	22.4	62.7	14.9

宗教団体の社会貢献活動2025

[ 市郡規模別 ]

	総 数	21大都市	その他の市	郡・町村
総 数	1184	28.5	61.6	10.0
[ 職 業 別 ]				
農林漁業	17	5.9	70.6	23.5
商工・サービス業	145	40.0	56.6	3.4
事 務 職	205	35.1	58.0	6.8
労 務 職	257	27.2	61.9	10.9
自由業・管理職	26	26.9	73.1	-
無職の主婦	278	22.7	62.6	14.7
学 生	22	45.5	54.5	-
その他の無 職	234	23.9	65.0	11.1
[ 学 歴 別 ]				
(旧)小・高小 (新)中 学	68	13.2	69.1	17.6
(旧)中 学 (新)高 校	572	25.7	61.5	12.8
(旧)高専大 (新)短大・大学	538	33.3	61.0	5.8
不 明	6	33.3	33.3	33.3

[ 性 別 ]

	総 数	男 性	女 性
総 数	1184	44.5	55.5
[ ブロック別 ]			
北 海 道	48	43.8	56.3
東 北	83	45.8	54.2
関 東	257	41.6	58.4
京 浜	131	43.5	56.5
甲 信 越	58	56.9	43.1
北 陸	28	57.1	42.9
東 海	146	37.0	63.0
近 畿	116	47.4	52.6
阪 神	73	49.3	50.7
中 国	67	47.8	52.2
四 国	35	34.3	65.7
九 州	142	46.5	53.5
[ 市郡規模別 ]			
21大都市	337	45.4	54.6
その他の市	729	44.4	55.6
郡・町 村	118	42.4	57.6
[ 性 別 ]			
男 性	527	100.0	-
女 性	657	-	100.0
[ 年 代 別 ]			
20代	98	49.0	51.0
30代	103	59.2	40.8
40代	184	44.6	55.4
50代	205	39.5	60.5
60代	195	43.1	56.9
70歳以上	399	42.9	57.1
[ 性・年代別 ]			
—男性— 20代	48	100.0	-
30代	61	100.0	-
40代	82	100.0	-
50代	81	100.0	-
60代	84	100.0	-
70歳以上	171	100.0	-
—女性— 20代	50	-	100.0
30代	42	-	100.0
40代	102	-	100.0
50代	124	-	100.0
60代	111	-	100.0
70歳以上	228	-	100.0

[ 性 別 ]

	総 数	男 性	女 性
総 数	1184	44.5	55.5
[ 職 業 別 ]			
農林漁業	17	58.8	41.2
商工・サービス業	145	42.1	57.9
事 務 職	205	49.8	50.2
労 務 職	257	55.6	44.4
自由業・管理職	26	76.9	23.1
無職の主婦	278	-	100.0
学 生	22	45.5	54.5
その他の無 職	234	77.4	22.6
[ 学 歴 別 ]			
(旧)小・高小(新)中 学	68	38.2	61.8
(旧)中 学(新)高 校	572	40.4	59.6
(旧)高専大(新)短大・大学	538	49.6	50.4
不 明	6	50.0	50.0

宗教団体の社会貢献活動2025

[年代別]

	総数	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
総数	1184	8.3	8.7	15.5	17.3	16.5	33.7
〔ブロック別〕							
北海道	48	12.5	14.6	16.7	12.5	22.9	20.8
東北	83	9.6	9.6	7.2	12.0	15.7	45.8
関東	257	9.3	6.6	16.3	22.2	12.8	32.7
京浜	131	9.9	10.7	14.5	25.2	13.7	26.0
甲信越	58	6.9	8.6	15.5	22.4	17.2	29.3
北陸	28	3.6	10.7	25.0	17.9	14.3	28.6
東海	146	7.5	6.8	20.5	14.4	18.5	32.2
近畿	116	7.8	10.3	19.8	12.9	19.0	30.2
阪神	73	6.8	8.2	11.0	13.7	16.4	43.8
中国	67	7.5	6.0	13.4	20.9	16.4	35.8
四国	35	5.7	8.6	8.6	11.4	17.1	48.6
九州	142	7.0	9.9	14.1	12.0	19.7	37.3
〔市郡規模別〕							
21大都市	337	11.6	11.0	15.1	20.5	13.9	27.9
その他の市	729	7.7	7.8	16.9	15.9	17.3	34.4
郡・町村	118	2.5	7.6	8.5	16.9	18.6	45.8
〔性別〕							
男性	527	9.1	11.6	15.6	15.4	15.9	32.4
女性	657	7.6	6.4	15.5	18.9	16.9	34.7
〔年代別〕							
20代	98	100.0	-	-	-	-	-
30代	103	-	100.0	-	-	-	-
40代	184	-	-	100.0	-	-	-
50代	205	-	-	-	100.0	-	-
60代	195	-	-	-	-	100.0	-
70歳以上	399	-	-	-	-	-	100.0
〔性・年代別〕							
—男性— 20代	48	100.0	-	-	-	-	-
30代	61	-	100.0	-	-	-	-
40代	82	-	-	100.0	-	-	-
50代	81	-	-	-	100.0	-	-
60代	84	-	-	-	-	100.0	-
70歳以上	171	-	-	-	-	-	100.0
—女性— 20代	50	100.0	-	-	-	-	-
30代	42	-	100.0	-	-	-	-
40代	102	-	-	100.0	-	-	-
50代	124	-	-	-	100.0	-	-
60代	111	-	-	-	-	100.0	-
70歳以上	228	-	-	-	-	-	100.0

宗教団体の社会貢献活動2025

[年代別]

	総数	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
総数	1184	8.3	8.7	15.5	17.3	16.5	33.7
[職業別]							
農林漁業	17	-	5.9	17.6	11.8	17.6	47.1
商工・サービス業	145	9.0	8.3	23.4	24.1	22.1	13.1
事務職	205	10.2	15.1	29.8	22.9	14.6	7.3
労務職	257	13.2	16.7	20.6	27.2	14.0	8.2
自由業・管理職	26	3.8	3.8	42.3	19.2	11.5	19.2
無職の主婦	278	-	2.9	6.5	11.5	20.9	58.3
学生	22	100.0	-	-	-	-	-
その他の無職	234	3.0	3.0	1.7	6.0	14.1	72.2
[学歴別]							
(旧)小・高小(新)中学	68	1.5	2.9	7.4	8.8	5.9	73.5
(旧)中学(新)高校	572	6.6	5.8	12.4	15.4	17.8	42.0
(旧)高専大(新)短大・大学	538	10.8	12.6	20.1	20.6	16.4	19.5
不明	6	16.7	-	-	-	16.7	66.7



[ 性・年代別 ]

	総 数	一 男 性						一 女 性					
		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
総 数	1184	4.1	5.2	6.9	6.8	7.1	14.4	4.2	3.5	8.6	10.5	9.4	19.3
[ 職 業 別 ]													
農林漁業	17	-	5.9	11.8	5.9	17.6	17.6	-	-	5.9	5.9	-	29.4
商工・サービス業	145	2.8	4.8	7.6	11.0	10.3	5.5	6.2	3.4	15.9	13.1	11.7	7.6
事 務 職	205	4.4	10.2	12.7	10.2	8.3	3.9	5.9	4.9	17.1	12.7	6.3	3.4
労 務 職	257	8.2	10.5	13.2	12.1	7.4	4.3	5.1	6.2	7.4	15.2	6.6	3.9
自由業・管理職	26	3.8	3.8	26.9	11.5	11.5	19.2	-	-	15.4	7.7	-	-
無職の主婦	278	-	-	-	-	-	-	-	2.9	6.5	11.5	20.9	58.3
学 生	22	45.5	-	-	-	-	-	54.5	-	-	-	-	-
その他の無職	234	1.3	1.7	0.9	3.8	11.5	58.1	1.7	1.3	0.9	2.1	2.6	14.1
[ 学 歴 別 ]													
(旧)小・高小 (新)中 学	68	-	1.5	2.9	5.9	1.5	26.5	1.5	1.5	4.4	2.9	4.4	47.1
(旧)中 学 (新)高 校	572	3.7	3.5	5.4	5.8	6.6	15.4	3.0	2.3	7.0	9.6	11.2	26.6
(旧)高専大 (新)短大・大学	538	5.0	7.4	9.1	8.2	8.2	11.7	5.8	5.2	11.0	12.5	8.2	7.8
不 明	6	-	-	-	-	16.7	33.3	16.7	-	-	-	-	33.3

[ 職業別 ]

	総数	農林漁業	商工・サービス業	事務職	労務職	自由業・管理職	無職の主婦	学生	その他の無職
総数	1184	1.4	12.2	17.3	21.7	2.2	23.5	1.9	19.8
[ ブロック別 ]									
北海道	48	-	8.3	25.0	22.9	2.1	18.8	2.1	20.8
東北	83	4.8	6.0	14.5	21.7	1.2	27.7	-	24.1
関東	257	0.4	14.0	17.9	24.9	1.6	21.8	2.7	16.7
京浜	131	-	16.0	29.0	16.8	3.1	20.6	2.3	12.2
甲信越	58	5.2	8.6	15.5	25.9	6.9	17.2	-	20.7
北陸	28	-	7.1	35.7	32.1	-	17.9	-	7.1
東海	146	3.4	8.2	17.1	21.2	3.4	26.0	3.4	17.1
近畿	116	0.9	12.9	11.2	20.7	3.4	29.3	0.9	20.7
阪神	73	-	21.9	9.6	15.1	2.7	24.7	-	26.0
中国	67	1.5	11.9	14.9	22.4	1.5	20.9	3.0	23.9
四国	35	-	11.4	2.9	20.0	-	34.3	2.9	28.6
九州	142	1.4	12.0	15.5	21.1	-	22.5	1.4	26.1
[ 市郡規模別 ]									
21大都市	337	0.3	17.2	21.4	20.8	2.1	18.7	3.0	16.6
その他の市	729	1.6	11.2	16.3	21.8	2.6	23.9	1.6	20.9
郡・町村	118	3.4	4.2	11.9	23.7	-	34.7	-	22.0
[ 性別 ]									
男性	527	1.9	11.6	19.4	27.1	3.8	-	1.9	34.3
女性	657	1.1	12.8	15.7	17.4	0.9	42.3	1.8	8.1
[ 年代別 ]									
20代	98	-	13.3	21.4	34.7	1.0	-	22.4	7.1
30代	103	1.0	11.7	30.1	41.7	1.0	7.8	-	6.8
40代	184	1.6	18.5	33.2	28.8	6.0	9.8	-	2.2
50代	205	1.0	17.1	22.9	34.1	2.4	15.6	-	6.8
60代	195	1.5	16.4	15.4	18.5	1.5	29.7	-	16.9
70歳以上	399	2.0	4.8	3.8	5.3	1.3	40.6	-	42.4
[ 性・年代別 ]									
一男性一 20代	48	-	8.3	18.8	43.8	2.1	-	20.8	6.3
30代	61	1.6	11.5	34.4	44.3	1.6	-	-	6.6
40代	82	2.4	13.4	31.7	41.5	8.5	-	-	2.4
50代	81	1.2	19.8	25.9	38.3	3.7	-	-	11.1
60代	84	3.6	17.9	20.2	22.6	3.6	-	-	32.1
70歳以上	171	1.8	4.7	4.7	6.4	2.9	-	-	79.5
一女性一 20代	50	-	18.0	24.0	26.0	-	-	24.0	8.0
30代	42	-	11.9	23.8	38.1	-	19.0	-	7.1
40代	102	1.0	22.5	34.3	18.6	3.9	17.6	-	2.0
50代	124	0.8	15.3	21.0	31.5	1.6	25.8	-	4.0
60代	111	-	15.3	11.7	15.3	-	52.3	-	5.4
70歳以上	228	2.2	4.8	3.1	4.4	-	71.1	-	14.5

[ 職業別 ]

	総数	農林漁業	商工・サービス業	事務職	労務職	自由業・管理職	無職の主婦	学生	その他の無職
総数	1184	1.4	12.2	17.3	21.7	2.2	23.5	1.9	19.8
[ 職業別 ]									
農林漁業	17	100.0	-	-	-	-	-	-	-
商工・サービス業	145	-	100.0	-	-	-	-	-	-
事務職	205	-	-	100.0	-	-	-	-	-
労務職	257	-	-	-	100.0	-	-	-	-
自由業・管理職	26	-	-	-	-	100.0	-	-	-
無職の主婦	278	-	-	-	-	-	100.0	-	-
学生	22	-	-	-	-	-	-	100.0	-
その他の無職	234	-	-	-	-	-	-	-	100.0
[ 学歴別 ]									
(旧)小・高小 (新)中学	68	1.5	7.4	2.9	17.6	1.5	29.4	-	39.7
(旧)中学 (新)高校	572	2.1	9.6	8.9	25.2	1.6	31.3	1.2	20.1
(旧)高専大 (新)短大・大学	538	0.7	15.8	28.3	18.6	3.0	14.5	2.8	16.4
不明	6	-	-	-	16.7	-	16.7	-	66.7

[ 学 歴 別 ]

	総 数	(旧) 小・高小 (新) 中 学	(旧) 中 学 (新) 高 校	(旧) 高専大 (新) 短大・大学	不 明
総 数	1184	5.7	48.3	45.4	0.5
[ ブロック別 ]					
北 海 道	48	6.3	50.0	43.8	-
東 北	83	15.7	55.4	28.9	-
関 東	257	2.3	42.8	53.3	1.6
京 浜	131	1.5	35.1	62.6	0.8
甲 信 越	58	-	50.0	50.0	-
北 陸	28	3.6	53.6	42.9	-
東 海	146	11.6	52.7	35.6	-
近 畿	116	5.2	46.6	48.3	-
阪 神	73	6.8	38.4	54.8	-
中 国	67	3.0	50.7	44.8	1.5
四 国	35	14.3	54.3	31.4	-
九 州	142	5.6	63.4	31.0	-
[ 市郡規模別 ]					
21大都市	337	2.7	43.6	53.1	0.6
その他の市	729	6.4	48.3	45.0	0.3
郡・町村	118	10.2	61.9	26.3	1.7
[ 性 別 ]					
男 性	527	4.9	43.8	50.7	0.6
女 性	657	6.4	51.9	41.2	0.5
[ 年 代 別 ]					
20代	98	1.0	38.8	59.2	1.0
30代	103	1.9	32.0	66.0	-
40代	184	2.7	38.6	58.7	-
50代	205	2.9	42.9	54.1	-
60代	195	2.1	52.3	45.1	0.5
70歳以上	399	12.5	60.2	26.3	1.0

[ 学 歴 別 ]

	総 数	(旧) 小・高小 (新) 中 学	(旧) 中 学 (新) 高 校	(旧) 高専大 (新) 短大・大学	不 明
総 数	1184	5.7	48.3	45.4	0.5
[ 性・年代別 ]					
一男性一					
20代	48	-	43.8	56.3	-
30代	61	1.6	32.8	65.6	-
40代	82	2.4	37.8	59.8	-
50代	81	4.9	40.7	54.3	-
60代	84	1.2	45.2	52.4	1.2
70歳以上	171	10.5	51.5	36.8	1.2
一女性一					
20代	50	2.0	34.0	62.0	2.0
30代	42	2.4	31.0	66.7	-
40代	102	2.9	39.2	57.8	-
50代	124	1.6	44.4	54.0	-
60代	111	2.7	57.7	39.6	-
70歳以上	228	14.0	66.7	18.4	0.9
[ 職 業 別 ]					
農林漁業	17	5.9	70.6	23.5	-
商工・サービス業	145	3.4	37.9	58.6	-
事 務 職	205	1.0	24.9	74.1	-
労 務 職	257	4.7	56.0	38.9	0.4
自由業・管理職	26	3.8	34.6	61.5	-
無職の主婦	278	7.2	64.4	28.1	0.4
学 生	22	-	31.8	68.2	-
その他の無 職	234	11.5	49.1	37.6	1.7
[ 学 歴 別 ]					
(旧)小・高小(新)中 学	68	100.0	-	-	-
(旧)中 学(新)高 校	572	-	100.0	-	-
(旧)高専大(新)短大・大学	538	-	-	100.0	-
不 明	6	-	-	-	100.0

Q1. 宗教者・宗教団体の社会貢献活動周知

	総 数	知っている	知らない	わからない
総 数	1184	29.6	62.7	7.8
〔 ブロック別 〕				
北 海 道	48	35.4	56.3	8.3
東 北	83	24.1	66.3	9.6
関 東	257	26.1	65.8	8.2
京 浜	131	38.2	53.4	8.4
甲 信 越	58	29.3	62.1	8.6
北 陸	28	21.4	53.6	25.0
東 海	146	30.1	65.1	4.8
近 畿	116	32.8	62.1	5.2
阪 神	73	46.6	45.2	8.2
中 国	67	17.9	77.6	4.5
四 国	35	25.7	68.6	5.7
九 州	142	25.4	66.2	8.5
〔 市郡規模別 〕				
21大都市	337	32.6	60.5	6.8
その他の市	729	28.9	63.0	8.1
郡・町村	118	24.6	66.9	8.5
〔 性 別 〕				
男 性	527	31.9	59.8	8.3
女 性	657	27.7	65.0	7.3
〔 年 代 別 〕				
20代	98	16.3	78.6	5.1
30代	103	24.3	69.9	5.8
40代	184	29.9	62.5	7.6
50代	205	37.1	54.6	8.3
60代	195	31.8	57.4	10.8
70歳以上	399	29.1	63.7	7.3
〔 性・年代別 〕				
－男性－ 20代	48	20.8	75.0	4.2
30代	61	23.0	70.5	6.6
40代	82	26.8	63.4	9.8
50代	81	42.0	49.4	8.6
60代	84	35.7	54.8	9.5
70歳以上	171	33.9	57.3	8.8
－女性－ 20代	50	12.0	82.0	6.0
30代	42	26.2	69.0	4.8
40代	102	32.4	61.8	5.9
50代	124	33.9	58.1	8.1
60代	111	28.8	59.5	11.7
70歳以上	228	25.4	68.4	6.1

Q1. 宗教者・宗教団体の社会貢献活動周知

	総 数	知っている	知らない	わからない
総 数	1184	29.6	62.7	7.8
〔 職 業 別 〕				
農林漁業	17	41.2	52.9	5.9
商工・サービス業	145	31.7	57.9	10.3
事 務 職	205	27.3	63.4	9.3
労 務 職	257	29.6	65.0	5.4
自由業・管理職	26	46.2	53.8	-
無職の主婦	278	28.1	65.1	6.8
学 生	22	22.7	68.2	9.1
その他の無 職	234	29.9	60.7	9.4
〔 学 歴 別 〕				
(旧)小・高小 (新)中 学	68	22.1	67.6	10.3
(旧)中 学 (新)高 校	572	25.5	65.7	8.7
(旧)高専大 (新)短大・大学	538	34.8	58.7	6.5
不 明	6	33.3	66.7	-

Q2. 宗教者・宗教団体の社会貢献活動

	総数	小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校などの教育機関の経営	児童の福祉の増進に関する事業（保育所、幼稚園、児童養護施設など）	老人の扶助を目的とした事業（養老ホームなど）	身体障害者更生施設などの経営、身体障害者の扶助を目的とした事業	婦人保護施設経営、困難な状況に置かれた女性の扶助を目的とした事業	診療所、病院など医療機関の経営	民生委員、教諭師、篤志面接員、保護司などの活動	伝統文化、地域文化などの保存活動	自殺防止に関わる活動	災害時のボランティア活動	緑化、温暖化の防止など環境に関する活動	在留外国人の生活支援や交流活動	海外の教育、医療等の援助活動	海外の紛争地域などでの救助活動、難民支援	その他
総数	1184	32.8	20.3	11.5	7.3	6.1	15.2	10.5	7.6	5.2	14.9	5.2	5.1	6.7	5.4	-
〔ブロック別〕																
北海道	48	39.6	31.3	12.5	6.3	-	10.4	8.3	10.4	-	12.5	4.2	-	6.3	4.2	-
東北	83	27.7	4.8	2.4	4.8	3.6	8.4	7.2	3.6	4.8	12.0	2.4	1.2	2.4	6.0	-
関東	257	28.8	17.1	8.2	4.3	4.7	12.1	10.9	7.4	5.8	12.5	4.3	5.1	3.9	3.9	-
京浜	131	44.3	17.6	12.2	6.9	7.6	26.0	7.6	6.9	3.8	19.1	7.6	6.1	11.5	11.5	-
甲信越	58	34.5	17.2	3.4	1.7	1.7	6.9	5.2	1.7	1.7	8.6	3.4	5.2	6.9	5.2	-
北陸	28	39.3	21.4	10.7	10.7	7.1	28.6	10.7	14.3	-	14.3	3.6	7.1	10.7	-	-
東海	146	32.2	26.0	12.3	6.8	5.5	14.4	10.3	6.8	7.5	18.5	4.8	5.5	8.9	7.5	-
近畿	116	35.3	21.6	16.4	10.3	8.6	18.1	15.5	8.6	4.3	13.8	4.3	6.0	8.6	4.3	-
阪神	73	53.4	35.6	20.5	9.6	8.2	27.4	16.4	19.2	11.0	19.2	8.2	11.0	9.6	8.2	-
中国	67	20.9	14.9	6.0	7.5	6.0	9.0	10.4	3.0	4.5	10.4	6.0	3.0	7.5	4.5	-
四国	35	25.7	17.1	11.4	8.6	5.7	14.3	5.7	8.6	2.9	11.4	11.4	2.9	8.6	2.9	-
九州	142	23.2	23.2	18.3	12.7	9.9	12.7	11.3	7.0	6.3	19.0	4.9	4.9	2.8	2.1	-
〔市郡規模別〕																
21大都市	337	36.2	21.4	12.5	6.8	7.7	20.2	10.4	9.5	3.6	17.8	5.9	6.8	9.5	8.0	-
その他の市	729	32.1	19.6	10.8	7.3	5.5	13.7	10.8	7.0	5.9	14.0	4.8	4.4	5.5	4.3	-
郡・町村	118	27.1	21.2	12.7	8.5	5.1	10.2	8.5	5.9	5.9	12.7	5.1	4.2	5.9	5.1	-
〔性別〕																
男性	527	35.1	20.3	12.1	7.8	4.7	17.6	12.0	8.3	4.7	16.1	4.7	5.5	7.6	5.7	-
女性	657	30.9	20.2	11.0	6.8	7.2	13.2	9.3	7.0	5.6	14.0	5.5	4.7	5.9	5.2	-
〔年代別〕																
20代	98	21.4	13.3	5.1	2.0	1.0	9.2	2.0	5.1	3.1	4.1	2.0	1.0	2.0	2.0	-
30代	103	37.9	19.4	11.7	2.9	5.8	14.6	7.8	6.8	5.8	14.6	5.8	4.9	7.8	8.7	-
40代	184	27.7	16.8	8.7	7.6	5.4	11.4	10.9	4.9	5.4	16.3	4.9	3.8	6.0	4.9	-
50代	205	45.4	25.9	16.1	9.8	8.8	20.0	12.7	8.8	3.9	15.6	5.9	7.3	9.3	6.8	-
60代	195	36.4	23.6	13.3	8.7	9.2	17.9	9.7	9.7	6.7	16.4	6.2	7.2	8.7	7.2	-
70歳以上	399	28.3	19.3	11.0	7.5	4.8	14.8	12.3	8.0	5.5	16.0	5.0	4.5	5.5	4.0	-



Q2. 宗教者・宗教団体の社会貢献活動

	どれも知らない	わからない
総 数	47.4	7.3
[ ブロック別 ]		
北海道	35.4	8.3
東北	57.8	6.0
関東	46.3	10.5
京浜	38.9	4.6
甲信越	43.1	13.8
北陸	46.4	-
東海	47.3	5.5
近畿	46.6	7.8
阪神	37.0	2.7
中国	65.7	7.5
四国	60.0	5.7
九州	51.4	7.7
[ 市郡規模別 ]		
21大都市	46.3	4.2
その他の市	47.7	8.4
郡・町村	48.3	10.2
[ 性 別 ]		
男 性	45.7	6.6
女 性	48.7	7.9
[ 年 代 別 ]		
20代	62.2	6.1
30代	45.6	5.8
40代	47.3	8.2
50代	40.5	5.4
60代	43.6	8.7
70歳以上	49.6	8.0

Q2. 宗教者・宗教団体の社会貢献活動

	どれも知らない	わからない
総 数	47.4	7.3
〔 性・年代別 〕		
一男性一 20代	58.3	6.3
30代	52.5	4.9
40代	48.8	11.0
50代	34.6	4.9
60代	44.0	4.8
70歳以上	44.4	7.0
一女性一 20代	66.0	6.0
30代	35.7	7.1
40代	46.1	5.9
50代	44.4	5.6
60代	43.2	11.7
70歳以上	53.5	8.8
〔 職 業 別 〕		
農林漁業	35.3	5.9
商工・サービス業	44.8	8.3
事 務 職	44.9	6.3
労 務 職	49.0	6.2
自由業・管理職	38.5	-
無職の主婦	48.6	9.4
学 生	50.0	9.1
その他の無 職	49.6	7.3
〔 学 歴 別 〕		
(旧)小・高小(新)中 学	58.8	13.2
(旧)中 学(新)高 校	54.0	7.3
(旧)高専大(新)短大・大学	38.7	6.7
不 明	66.7	-

Q3. 宗教者・宗教団体の社会貢献活動についての考え

	総数	たいへん立派な活動で、もっと活発に行ってほしい	こうした活動を行うのは、宗教活動の一環として当然である	勝手にやっていることでもやらなくてもどちらでもかまわない	よい評判を得ようとしてやっていることで、やめたほうがよい	その他	このような社会活動を行っていたことを知らなかった	わからない
総数	1184	15.6	8.6	25.0	5.7	0.6	24.3	20.1
〔ブロック別〕								
北海道	48	12.5	4.2	43.8	8.3	-	6.3	25.0
東北	83	13.3	6.0	18.1	6.0	3.6	25.3	27.7
関東	257	20.2	6.2	21.4	5.1	0.4	24.1	22.6
京浜	131	11.5	13.0	32.1	8.4	-	21.4	13.7
甲信越	58	3.4	3.4	37.9	3.4	1.7	25.9	24.1
北陸	28	-	3.6	57.1	14.3	-	17.9	7.1
東海	146	21.9	6.2	17.8	5.5	0.7	26.7	21.2
近畿	116	12.1	9.5	16.4	4.3	-	37.9	19.8
阪神	73	17.8	13.7	38.4	2.7	-	16.4	11.0
中国	67	19.4	6.0	23.9	7.5	1.5	17.9	23.9
四国	35	14.3	11.4	17.1	8.6	-	31.4	17.1
九州	142	15.5	14.8	21.1	4.2	-	25.4	19.0
〔市郡規模別〕								
21大都市	337	16.0	8.9	30.0	7.4	-	22.0	15.7
その他の市	729	16.3	8.4	22.5	5.3	0.8	24.3	22.4
郡・町村	118	10.2	9.3	26.3	3.4	0.8	31.4	18.6
〔性別〕								
男性	527	14.8	9.5	26.9	5.9	0.8	24.7	17.5
女性	657	16.3	7.9	23.4	5.6	0.5	24.0	22.2
〔年代別〕								
20代	98	12.2	6.1	18.4	2.0	-	34.7	26.5
30代	103	14.6	14.6	35.0	3.9	-	22.3	9.7
40代	184	15.2	5.4	33.7	4.3	-	23.4	17.9
50代	205	15.1	5.9	39.0	5.9	0.5	19.0	14.6
60代	195	12.3	13.3	24.1	6.2	0.5	25.1	18.5
70歳以上	399	18.8	8.3	13.3	7.5	1.3	25.1	25.8

Q3. 宗教者・宗教団体の社会貢献活動についての考え

	総 数	たいへん立派な活動で、もっと活発に行ってほしい	こうした活動を行うのは、宗教活動の一環として当然である	勝手にやっていることでも、やらなくてもどちらでもかまわない	よい評判を得ようとしてやっていることで、やめたほうがよい	その他	このような社会活動を行っていたことを知らなかった	わからない
総 数	1184	15.6	8.6	25.0	5.7	0.6	24.3	20.1
〔 性・年代別 〕								
一男性一								
20代	48	16.7	6.3	20.8	2.1	-	31.3	22.9
30代	61	14.8	11.5	36.1	1.6	-	26.2	9.8
40代	82	12.2	4.9	32.9	7.3	-	28.0	14.6
50代	81	16.0	2.5	45.7	7.4	-	16.0	12.3
60代	84	9.5	17.9	29.8	6.0	-	23.8	13.1
70歳以上	171	17.5	11.1	12.3	7.0	2.3	25.1	24.6
一女性一								
20代	50	8.0	6.0	16.0	2.0	-	38.0	30.0
30代	42	14.3	19.0	33.3	7.1	-	16.7	9.5
40代	102	17.6	5.9	34.3	2.0	-	19.6	20.6
50代	124	14.5	8.1	34.7	4.8	0.8	21.0	16.1
60代	111	14.4	9.9	19.8	6.3	0.9	26.1	22.5
70歳以上	228	19.7	6.1	14.0	7.9	0.4	25.0	26.8
〔 職 業 別 〕								
農林漁業	17	41.2	-	23.5	-	5.9	11.8	17.6
商工・サービス業	145	15.9	11.0	27.6	7.6	-	18.6	19.3
事 務 職	205	15.1	9.8	32.7	3.9	1.0	20.5	17.1
労 務 職	257	14.8	4.3	30.0	5.4	-	31.1	14.4
自由業・管理職	26	19.2	11.5	30.8	11.5	-	23.1	3.8
無職の主婦	278	13.7	9.0	20.9	5.4	0.7	24.8	25.5
学 生	22	18.2	9.1	18.2	4.5	-	4.5	45.5
その他の無 職	234	16.7	10.7	16.2	6.8	0.9	26.1	22.6
〔 学 歴 別 〕								
(旧)小・高小(新)中学	68	14.7	2.9	11.8	10.3	-	35.3	25.0
(旧)中学(新)高校	572	14.3	7.7	21.9	5.6	0.7	26.7	23.1
(旧)高専大(新)短大・大学	538	17.1	10.2	29.9	5.4	0.6	20.6	16.2
不 明	6	16.7	16.7	33.3	-	-	-	33.3

Q4. 宗教者・宗教団体に期待する活動

	総数	教育に関する活動(学校法人の経営など)	福祉に関する活動(保育所等の運営や社会的弱者への援助など)	医療に関する活動(グリーフケア、終末期医療、カウンセリングなど)	平和の増進に関する活動	海外の開発、教育、医療などの援助活動	環境問題への提言や取り組み	伝統文化の保存・維持	災害時のボランティア活動	政治への積極的な参加や発言	その他	期待する活動はない	わからない
総数	1184	14.4	22.3	13.8	25.1	7.8	11.8	7.2	25.4	2.8	0.3	35.8	10.8
〔ブロック別〕													
北海道	48	12.5	20.8	16.7	18.8	4.2	8.3	6.3	25.0	4.2	-	35.4	14.6
東北	83	13.3	19.3	14.5	19.3	7.2	6.0	6.0	15.7	3.6	-	53.0	9.6
関東	257	15.2	21.4	17.1	21.0	5.4	7.8	5.4	28.0	1.6	-	30.4	12.1
京浜	131	17.6	23.7	11.5	22.9	9.2	16.0	5.3	25.2	2.3	-	33.6	10.7
甲信越	58	12.1	13.8	12.1	20.7	3.4	5.2	3.4	19.0	1.7	-	41.4	12.1
北陸	28	14.3	10.7	7.1	10.7	7.1	3.6	10.7	17.9	-	-	57.1	3.6
東海	146	15.8	20.5	11.6	31.5	7.5	15.1	7.5	17.1	4.1	-	39.0	15.1
近畿	116	12.9	22.4	12.9	26.7	6.0	8.6	6.9	25.9	1.7	-	34.5	11.2
阪神	73	20.5	37.0	21.9	28.8	15.1	16.4	16.4	28.8	5.5	1.4	24.7	5.5
中国	67	9.0	20.9	10.4	20.9	6.0	17.9	7.5	31.3	3.0	1.5	41.8	10.4
四国	35	2.9	11.4	8.6	31.4	8.6	17.1	14.3	22.9	8.6	2.9	42.9	11.4
九州	142	14.1	28.2	12.0	35.2	12.7	16.9	7.0	35.2	2.1	-	30.3	7.0
〔市郡規模別〕													
21大都市	337	16.3	25.5	15.1	27.6	8.3	13.9	7.1	26.4	3.6	-	34.7	8.6
その他の市	729	13.7	21.3	13.2	23.7	7.5	10.7	7.3	24.4	2.1	0.3	36.5	11.2
郡・町村	118	12.7	19.5	13.6	26.3	7.6	12.7	6.8	28.8	5.1	0.8	34.7	14.4
〔性別〕													
男性	527	15.9	23.3	15.0	26.6	7.0	12.0	10.1	24.3	1.9	0.2	35.3	9.5
女性	657	13.1	21.5	12.8	23.9	8.4	11.7	4.9	26.3	3.5	0.3	36.2	11.9
〔年代別〕													
20代	98	11.2	15.3	12.2	16.3	5.1	8.2	6.1	17.3	2.0	-	36.7	19.4
30代	103	23.3	29.1	17.5	20.4	7.8	8.7	4.9	30.1	1.9	-	35.9	5.8
40代	184	11.4	17.9	12.5	19.0	3.8	5.4	6.0	24.5	-	-	38.0	10.3
50代	205	17.1	28.3	12.7	31.2	8.8	14.6	7.8	26.8	2.4	-	33.7	7.3
60代	195	12.3	23.1	12.3	33.8	10.3	14.4	7.7	25.1	4.6	-	32.3	12.3
70歳以上	399	13.8	20.8	15.0	23.8	8.5	13.8	8.0	26.1	3.8	0.8	37.3	11.3

Q4. 宗教者・宗教団体に期待する活動

	総数	教育に関する活動(学校法人の経営など)	福祉に関する活動(保育所等の運営や社会的弱者への援助など)	医療に関する活動(グリーフケア、終末期医療、カウンセリングなど)	平和の増進に関する活動	海外の開発、教育、医療などの援助活動	環境問題への提言や取り組み	伝統文化の保存・維持	災害時のボランティア活動	政治への積極的な参加や発言	その他	期待する活動はない	わからない
総数	1184	14.4	22.3	13.8	25.1	7.8	11.8	7.2	25.4	2.8	0.3	35.8	10.8
〔性・年代別〕													
一男性一													
20代	48	20.8	22.9	18.8	16.7	4.2	10.4	10.4	18.8	4.2	-	33.3	14.6
30代	61	29.5	29.5	19.7	19.7	4.9	8.2	6.6	24.6	1.6	-	36.1	6.6
40代	82	12.2	15.9	12.2	17.1	1.2	3.7	7.3	22.0	-	-	40.2	13.4
50代	81	14.8	28.4	11.1	35.8	7.4	11.1	8.6	23.5	-	-	35.8	4.9
60代	84	11.9	23.8	11.9	39.3	8.3	13.1	9.5	23.8	4.8	-	32.1	6.0
70歳以上	171	14.0	22.2	17.0	25.7	10.5	17.5	13.5	27.5	1.8	0.6	34.5	11.1
一女性一													
20代	50	2.0	8.0	6.0	16.0	6.0	6.0	2.0	16.0	-	-	40.0	24.0
30代	42	14.3	28.6	14.3	21.4	11.9	9.5	2.4	38.1	2.4	-	35.7	4.8
40代	102	10.8	19.6	12.7	20.6	5.9	6.9	4.9	26.5	-	-	36.3	7.8
50代	124	18.5	28.2	13.7	28.2	9.7	16.9	7.3	29.0	4.0	-	32.3	8.9
60代	111	12.6	22.5	12.6	29.7	11.7	15.3	6.3	26.1	4.5	-	32.4	17.1
70歳以上	228	13.6	19.7	13.6	22.4	7.0	11.0	3.9	25.0	5.3	0.9	39.5	11.4
〔職業別〕													
農林漁業	17	17.6	35.3	29.4	64.7	5.9	17.6	23.5	35.3	-	-	23.5	-
商工・サービス業	145	13.1	22.1	9.7	20.7	6.9	7.6	6.9	25.5	2.1	-	34.5	13.1
事務職	205	17.1	22.9	18.0	25.9	9.3	13.7	7.3	27.3	2.4	-	34.6	9.3
労務職	257	14.0	19.8	12.8	24.5	8.2	11.7	7.8	25.3	3.1	-	38.9	9.3
自由業・管理職	26	11.5	23.1	19.2	26.9	-	3.8	11.5	7.7	-	-	38.5	3.8
無職の主婦	278	15.1	20.9	11.2	22.7	6.5	10.4	3.6	25.2	3.6	0.7	38.5	10.8
学生	22	9.1	22.7	9.1	18.2	9.1	9.1	4.5	13.6	-	-	36.4	22.7
その他の無職	234	12.8	25.2	15.4	28.2	9.0	15.4	9.4	26.5	3.0	0.4	31.6	12.8
〔学歴別〕													
(旧)小・高小(新)中学	68	5.9	7.4	13.2	13.2	4.4	10.3	4.4	17.6	7.4	1.5	50.0	16.2
(旧)中学(新)高校	572	12.8	22.0	13.3	26.0	7.0	12.8	6.8	25.7	3.0	0.2	36.7	11.0
(旧)高専大(新)短大・大学	538	17.1	24.7	14.5	25.7	9.1	11.2	8.0	26.0	2.0	0.2	32.7	10.0
不明	6	16.7	-	-	16.7	-	-	-	33.3	-	-	66.7	-

Q5. 宗教者・宗教団体の行う平和活動

	総 数	直接的に、 世界平和に 貢献する可 能性がある	間接的にで はあるが、 世界平和に 貢献する可 能性がある	世界平和に はほとんど 影響を与え ないだろう	世界平和に かえって混 乱を生じさ せる	その他	わからない
総 数	1184	9.3	21.1	15.6	8.7	0.6	44.7
[ ブロック別 ]							
北 海 道	48	6.3	22.9	25.0	8.3	-	37.5
東 北	83	7.2	12.0	7.2	6.0	-	67.5
関 東	257	12.1	21.4	15.2	5.1	0.8	45.5
京 浜	131	8.4	24.4	16.8	15.3	-	35.1
甲 信 越	58	1.7	27.6	19.0	3.4	1.7	46.6
北 陸	28	3.6	14.3	25.0	17.9	-	39.3
東 海	146	13.0	17.8	17.1	11.0	-	41.1
近 畿	116	13.8	20.7	13.8	5.2	-	46.6
阪 神	73	11.0	32.9	17.8	5.5	1.4	31.5
中 国	67	4.5	17.9	14.9	4.5	1.5	56.7
四 国	35	8.6	17.1	8.6	14.3	2.9	48.6
九 州	142	5.6	21.1	14.8	14.1	0.7	43.7
[ 市郡規模別 ]							
21大都市	337	7.7	24.9	16.9	10.7	0.3	39.5
その他の市	729	11.0	18.7	15.6	7.8	0.7	46.2
郡・町 村	118	3.4	25.4	11.9	8.5	0.8	50.0
[ 性 別 ]							
男 性	527	9.1	21.1	18.8	8.9	0.4	41.7
女 性	657	9.4	21.2	13.1	8.5	0.8	47.0
[ 年 代 別 ]							
20代	98	5.1	22.4	14.3	5.1	-	53.1
30代	103	9.7	30.1	23.3	4.9	-	32.0
40代	184	7.6	18.5	19.6	10.9	0.5	42.9
50代	205	10.2	29.8	14.1	10.7	-	35.1
60代	195	6.7	21.5	16.4	7.2	1.0	47.2
70歳以上	399	11.8	15.0	12.5	9.3	1.0	50.4

Q5. 宗教者・宗教団体の行う平和活動

	総 数	直接的に、 世界平和に 貢献する可 能性がある	間接的にで はあるが、 世界平和に 貢献する可 能性がある	世界平和に はほとんど 影響を与え ないだろう	世界平和に かえって混 乱を生じさ せる	その他	わからない
総 数	1184	9.3	21.1	15.6	8.7	0.6	44.7
[ 性・年代別 ]							
一男性一							
20代	48	10.4	20.8	14.6	8.3	-	45.8
30代	61	8.2	29.5	24.6	3.3	-	34.4
40代	82	7.3	15.9	24.4	11.0	-	41.5
50代	81	9.9	23.5	19.8	12.3	-	34.6
60代	84	4.8	26.2	23.8	7.1	1.2	36.9
70歳以上	171	11.7	17.0	12.3	9.4	0.6	49.1
一女性一							
20代	50	-	24.0	14.0	2.0	-	60.0
30代	42	11.9	31.0	21.4	7.1	-	28.6
40代	102	7.8	20.6	15.7	10.8	1.0	44.1
50代	124	10.5	33.9	10.5	9.7	-	35.5
60代	111	8.1	18.0	10.8	7.2	0.9	55.0
70歳以上	228	11.8	13.6	12.7	9.2	1.3	51.3
[ 職 業 別 ]							
農林漁業	17	17.6	23.5	29.4	5.9	-	23.5
商工・サービス業	145	6.9	20.0	17.2	9.0	1.4	45.5
事 務 職	205	8.8	26.3	17.6	6.3	0.5	40.5
労 務 職	257	7.4	23.0	17.5	9.3	-	42.8
自由業・管理職	26	7.7	19.2	30.8	19.2	-	23.1
無職の主婦	278	11.2	17.6	11.5	10.1	1.1	48.6
学 生	22	18.2	22.7	4.5	-	-	54.5
その他の無 職	234	9.8	19.2	14.1	8.1	0.4	48.3
[ 学 歴 別 ]							
(旧)小・高小(新)中 学	68	4.4	8.8	8.8	17.6	-	60.3
(旧)中 学(新)高 校	572	8.7	17.5	14.5	10.0	0.3	49.0
(旧)高専大(新)短大・大学	538	10.6	26.4	17.5	6.3	0.9	38.3
不 明	6	-	33.3	33.3	-	-	33.3

Q6. 宗教団体が実施する社会貢献活動で、参加してもよいと思う活動

	総数	子育て広場の手伝い、子どもの見守り活動	河川や海岸などの美化活動	駅や道路など地域の清掃活動	植林など緑化、温暖化防止などの環境に関する活動	生活貧窮者への食事の炊き出し	一人住まいの高齢者への訪問介護	病院や介護施設でのボランティア活動	地域の防災訓練	災害時のボランティア活動	国内外の被災者・難民への支援物資の募集や義援金の募金活動	地元に住する外国人との交流活動	その他	参加したいと思う活動はない	わからない
総数	1184	16.0	14.2	11.7	9.0	9.0	8.8	8.7	12.9	20.6	4.5	2.7	0.1	47.2	9.0
〔ブロック別〕															
北海道	48	10.4	12.5	12.5	6.3	8.3	4.2	4.2	10.4	29.2	2.1	-	-	37.5	12.5
東北	83	13.3	12.0	8.4	6.0	8.4	10.8	9.6	4.8	7.2	1.2	1.2	-	59.0	9.6
関東	257	17.5	14.0	12.8	11.7	9.7	12.1	13.2	10.9	21.0	4.3	4.7	-	43.6	8.2
京浜	131	18.3	13.7	12.2	16.0	7.6	10.7	9.9	19.8	22.1	5.3	4.6	-	42.0	7.6
甲信越	58	13.8	8.6	3.4	6.9	6.9	3.4	1.7	17.2	27.6	1.7	-	-	37.9	19.0
北陸	28	3.6	-	3.6	-	-	-	3.6	10.7	17.9	3.6	-	-	67.9	3.6
東海	146	16.4	18.5	13.7	8.9	8.2	8.2	8.9	16.4	21.2	6.2	1.4	-	43.2	8.9
近畿	116	16.4	9.5	7.8	2.6	5.2	6.0	5.2	12.9	12.9	6.9	0.9	-	55.2	10.3
阪神	73	27.4	20.5	20.5	15.1	12.3	9.6	9.6	17.8	28.8	6.8	6.8	1.4	43.8	5.5
中国	67	13.4	13.4	10.4	4.5	4.5	6.0	1.5	3.0	23.9	1.5	-	-	46.3	10.4
四国	35	5.7	11.4	5.7	8.6	5.7	5.7	17.1	5.7	20.0	2.9	2.9	-	54.3	11.4
九州	142	14.8	19.0	14.8	7.0	16.9	9.9	7.7	14.8	21.1	4.9	2.8	-	52.8	7.0
〔市郡規模別〕															
21大都市	337	17.2	12.5	12.5	10.7	8.6	10.1	8.0	14.2	22.6	5.6	3.9	-	45.7	8.3
その他の市	729	16.7	15.2	11.4	7.8	8.6	8.2	8.6	13.0	20.0	3.8	2.6	0.1	47.7	8.8
郡・町村	118	7.6	12.7	11.9	11.0	11.9	8.5	11.0	8.5	18.6	5.1	-	-	48.3	12.7
〔性別〕															
男性	527	13.5	15.4	12.1	10.8	9.5	7.4	6.1	15.0	22.4	2.8	1.7	-	46.5	8.2
女性	657	18.0	13.2	11.4	7.5	8.5	9.9	10.8	11.3	19.2	5.8	3.5	0.2	47.8	9.7
〔年代別〕															
20代	98	10.2	15.3	10.2	10.2	11.2	7.1	9.2	9.2	19.4	1.0	3.1	-	51.0	12.2
30代	103	24.3	18.4	19.4	12.6	12.6	7.8	6.8	13.6	27.2	5.8	2.9	-	36.9	4.9
40代	184	22.3	16.3	11.4	7.6	10.9	8.2	10.3	16.3	23.9	7.1	3.3	-	41.8	7.1
50代	205	15.1	16.1	11.2	12.7	8.3	12.2	13.2	18.5	32.2	5.4	5.9	-	38.5	7.8
60代	195	17.9	15.9	13.3	7.2	9.7	9.2	6.7	13.8	22.1	5.1	3.1	-	43.6	10.3
70歳以上	399	11.8	10.0	9.8	7.3	6.5	7.8	7.0	8.8	11.0	3.0	0.5	0.3	57.6	10.3

Q6. 宗教団体が実施する社会貢献活動で、参加してもよいと思う活動

	総数	子育て広場の手伝い、子どもの見守り活動	河川や海岸などの美化活動	駅や道路など地域の清掃活動	植林など緑化、温暖化防止などの環境に関する活動	生活貧窮者への食事の炊き出し	一人住まいの高齢者への訪問介護	病院や介護施設でのボランティア活動	地域の防災訓練	災害時のボランティア活動	国内外の被災者・難民への支援物資の募集や義援金の募金活動	地元に住する外国人との交流活動	その他	参加したいと思う活動はない	わからない
総数	1184	16.0	14.2	11.7	9.0	9.0	8.8	8.7	12.9	20.6	4.5	2.7	0.1	47.2	9.0
〔 性・年代別 〕															
一男性一															
20代	48	12.5	20.8	18.8	16.7	16.7	6.3	10.4	12.5	22.9	2.1	6.3	-	50.0	4.2
30代	61	18.0	19.7	19.7	13.1	11.5	4.9	3.3	14.8	26.2	6.6	1.6	-	39.3	3.3
40代	82	14.6	17.1	4.9	7.3	12.2	4.9	6.1	18.3	24.4	2.4	2.4	-	43.9	7.3
50代	81	11.1	16.0	11.1	14.8	6.2	9.9	6.2	22.2	35.8	1.2	2.5	-	37.0	8.6
60代	84	14.3	22.6	16.7	10.7	9.5	6.0	3.6	15.5	21.4	3.6	1.2	-	47.6	7.1
70歳以上	171	12.3	7.6	9.4	8.2	7.0	9.4	7.0	10.5	14.0	2.3	-	-	53.2	11.7
一女性一															
20代	50	8.0	10.0	2.0	4.0	6.0	8.0	8.0	6.0	16.0	-	-	-	52.0	20.0
30代	42	33.3	16.7	19.0	11.9	14.3	11.9	11.9	11.9	28.6	4.8	4.8	-	33.3	7.1
40代	102	28.4	15.7	16.7	7.8	9.8	10.8	13.7	14.7	23.5	10.8	3.9	-	40.2	6.9
50代	124	17.7	16.1	11.3	11.3	9.7	13.7	17.7	16.1	29.8	8.1	8.1	-	39.5	7.3
60代	111	20.7	10.8	10.8	4.5	9.9	11.7	9.0	12.6	22.5	6.3	4.5	-	40.5	12.6
70歳以上	228	11.4	11.8	10.1	6.6	6.1	6.6	7.0	7.5	8.8	3.5	0.9	0.4	61.0	9.2
〔 職業別 〕															
農林漁業	17	17.6	29.4	23.5	17.6	17.6	11.8	5.9	29.4	23.5	-	-	-	29.4	-
商工・サービス業	145	18.6	17.2	13.8	11.0	11.7	5.5	7.6	10.3	21.4	6.2	4.1	-	44.1	9.7
事務職	205	23.4	17.6	14.6	10.7	11.7	10.7	11.2	18.0	27.3	4.9	3.9	-	37.1	8.8
労務職	257	12.1	14.8	9.7	10.9	7.4	10.9	11.7	14.8	26.1	4.7	2.3	-	46.3	6.6
自由業・管理職	26	26.9	23.1	7.7	15.4	11.5	19.2	11.5	23.1	23.1	7.7	3.8	-	42.3	-
無職の主婦	278	15.5	10.4	9.7	6.1	7.2	8.3	6.5	9.7	15.8	4.3	2.5	0.4	53.2	9.0
学生	22	-	13.6	9.1	13.6	4.5	4.5	13.6	4.5	13.6	-	4.5	-	50.0	18.2
その他の無職	234	12.8	11.1	12.4	5.6	8.1	6.4	6.0	10.3	14.1	3.4	1.3	-	53.4	12.4
〔 学歴別 〕															
(旧)小・高小(新)中学	68	10.3	7.4	8.8	-	5.9	5.9	5.9	2.9	7.4	1.5	1.5	1.5	58.8	13.2
(旧)中学(新)高校	572	12.4	12.4	10.3	8.4	9.1	9.3	7.9	11.5	20.1	4.2	2.6	-	50.7	9.6
(旧)高専大(新)短大・大学	538	20.6	17.1	13.8	10.8	9.3	8.7	10.0	15.8	23.0	5.2	3.0	-	41.4	8.0
不明	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

Q7. 宗教者・宗教団体の災害時の支援活動

	総数	神社や寺院、宗教団体の建物が避難場所となっていた	神社や寺院、宗教団体の建物で炊き出しなど支援物資を提供していた	僧侶が亡くなった人の葬儀や慰霊を行っていた	神職が慰霊を行っていた	宗教者・宗教団体が義援金を募って寄附していた	宗教者や会員が避難所や仮設住宅で被災者の心のケアにあっていた	宗教者や会員がボランティア活動を行っていた	宗教者が復興祈念を行っていた	その他	ひとつも知らない・わからない
総数	1184	18.2	14.7	10.6	6.0	11.1	4.5	8.2	5.7	0.1	68.7
[ ブロック別 ]											
北海道	48	25.0	16.7	10.4	8.3	14.6	4.2	6.3	6.3	-	58.3
東北	83	8.4	6.0	4.8	3.6	4.8	3.6	7.2	4.8	-	80.7
関東	257	19.1	12.5	8.9	4.7	10.9	3.9	6.2	6.2	-	71.6
京浜	131	19.8	13.7	9.9	3.8	11.5	4.6	7.6	8.4	-	67.9
甲信越	58	15.5	6.9	12.1	1.7	10.3	1.7	5.2	5.2	-	70.7
北陸	28	10.7	-	3.6	-	14.3	-	7.1	7.1	-	71.4
東海	146	22.6	23.3	14.4	8.9	11.0	4.8	8.9	4.1	-	61.6
近畿	116	18.1	12.9	5.2	2.6	6.9	2.6	8.6	2.6	-	69.0
阪神	73	24.7	30.1	16.4	12.3	15.1	11.0	15.1	9.6	-	60.3
中国	67	10.4	10.4	13.4	6.0	10.4	4.5	3.0	6.0	1.5	77.6
四国	35	17.1	11.4	11.4	5.7	17.1	14.3	20.0	8.6	-	71.4
九州	142	16.9	17.6	14.1	10.6	14.1	3.5	9.9	4.2	-	65.5
[ 市郡規模別 ]											
21大都市	337	19.0	16.0	11.9	7.1	11.6	5.3	8.3	7.4	-	66.8
その他の市	729	18.2	14.3	10.2	5.8	11.0	3.7	8.4	5.1	0.1	69.4
郡・町村	118	15.3	13.6	9.3	4.2	11.0	6.8	6.8	5.1	-	69.5
[ 性別 ]											
男性	527	18.0	13.5	10.8	6.8	11.6	3.4	7.6	5.1	0.2	67.6
女性	657	18.3	15.7	10.4	5.3	10.8	5.3	8.7	6.2	-	69.6
[ 年代別 ]											
20代	98	12.2	9.2	10.2	4.1	5.1	3.1	3.1	5.1	-	78.6
30代	103	22.3	17.5	13.6	5.8	13.6	2.9	10.7	4.9	-	63.1
40代	184	14.7	10.9	8.2	7.6	6.5	2.2	6.5	3.8	-	75.0
50代	205	21.0	16.6	13.2	6.3	17.1	5.9	10.7	7.8	-	62.9
60代	195	23.1	18.5	11.8	4.1	12.8	5.6	8.7	6.7	-	65.6
70歳以上	399	16.3	14.3	9.0	6.5	10.3	5.0	8.0	5.5	0.3	69.2



Q7SQ. 宗教者・宗教団体の災害時の支援活動についての情報源

	該当者	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	インターネットのニュースサイト	インターネットの動画共有サービス(YouTubeなど)	SNS(Xbook、LINEグループなど)	家族・地域・学校・職場など	その他	わからない	インターネット(計)	ソーシャルメディア(計)
総 数	371	38.0	72.8	22.9	6.5	8.4	14.0	2.7	0.8	29.9	12.4
[ ブロック別 ]											
北 海 道	20	20.0	60.0	40.0	-	20.0	5.0	10.0	-	55.0	20.0
東 北	16	43.8	81.3	12.5	-	-	12.5	-	-	12.5	-
関 東	73	32.9	76.7	23.3	6.8	8.2	12.3	4.1	2.7	30.1	11.0
京 浜	42	45.2	64.3	21.4	2.4	4.8	23.8	2.4	2.4	26.2	7.1
甲 信 越	17	29.4	82.4	29.4	5.9	-	11.8	-	-	29.4	5.9
北 陸	8	25.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
東 海	56	42.9	83.9	32.1	10.7	10.7	10.7	1.8	-	41.1	17.9
近 畿	36	41.7	77.8	16.7	11.1	11.1	8.3	-	-	25.0	19.4
阪 神	29	41.4	72.4	13.8	6.9	10.3	10.3	6.9	-	24.1	13.8
中 国	15	46.7	53.3	20.0	13.3	6.7	6.7	-	-	33.3	20.0
四 国	10	50.0	70.0	10.0	20.0	10.0	70.0	-	-	20.0	20.0
九 州	49	34.7	59.2	24.5	2.0	8.2	16.3	2.0	-	28.6	8.2
[ 市郡規模別 ]											
21大都市	112	35.7	65.2	25.0	7.1	16.1	16.1	3.6	0.9	36.6	19.6
その他の市	223	38.6	74.0	20.6	7.2	5.4	12.6	2.7	0.9	26.5	10.3
郡・町村	36	41.7	88.9	30.6	-	2.8	16.7	-	-	30.6	2.8
[ 性 別 ]											
男 性	171	38.0	71.3	25.7	4.7	5.8	9.4	2.9	1.2	30.4	9.9
女 性	200	38.0	74.0	20.5	8.0	10.5	18.0	2.5	0.5	29.5	14.5
[ 年 代 別 ]											
20代	21	19.0	66.7	42.9	4.8	19.0	9.5	-	-	61.9	19.0
30代	38	18.4	55.3	28.9	5.3	18.4	13.2	5.3	2.6	42.1	21.1
40代	46	32.6	67.4	32.6	4.3	13.0	13.0	2.2	-	39.1	15.2
50代	76	27.6	71.1	34.2	7.9	7.9	10.5	3.9	1.3	40.8	11.8
60代	67	53.7	83.6	13.4	10.4	4.5	16.4	1.5	1.5	23.9	14.9
70歳以上	123	47.2	76.4	12.2	4.9	4.1	16.3	2.4	-	13.8	6.5



Q8. 宗教者・宗教団体に期待する災害時の活動

	総数	義援金を集める	亡くなった人の葬儀や慰霊を行う	宗教者が積極的に被災者を訪ねて心のケアにあたる	心の相談窓口を設ける	避難場所となる	災害時の支援物資を保管し提供する	信者・会員をボランティアとして派遣する	復興を祈る	その他	とくにない・わからない
総数	1184	26.5	14.7	11.2	15.2	33.4	23.3	14.2	13.9	0.2	31.9
〔ブロック別〕											
北海道	48	14.6	10.4	12.5	12.5	29.2	22.9	14.6	14.6	-	31.3
東北	83	21.7	16.9	8.4	9.6	18.1	16.9	8.4	18.1	-	44.6
関東	257	27.2	16.3	10.1	17.1	33.1	24.9	15.2	14.4	-	28.4
京浜	131	28.2	16.8	13.7	14.5	42.7	30.5	20.6	13.0	-	26.0
甲信越	58	20.7	5.2	8.6	8.6	24.1	13.8	3.4	15.5	-	48.3
北陸	28	28.6	3.6	3.6	10.7	28.6	14.3	14.3	17.9	-	32.1
東海	146	26.7	14.4	8.2	16.4	35.6	23.3	11.6	8.9	-	35.6
近畿	116	26.7	11.2	13.8	14.7	37.9	22.4	14.7	10.3	0.9	30.2
阪神	73	28.8	20.5	20.5	28.8	43.8	24.7	15.1	21.9	-	21.9
中国	67	13.4	10.4	4.5	9.0	31.3	20.9	16.4	6.0	1.5	38.8
四国	35	28.6	14.3	14.3	11.4	25.7	20.0	17.1	8.6	-	34.3
九州	142	36.6	18.3	13.4	16.2	31.7	25.4	14.1	19.0	-	28.9
〔市郡規模別〕											
21大都市	337	25.2	16.6	12.8	14.8	40.4	25.2	19.9	14.8	-	27.0
その他の市	729	26.6	13.6	11.0	15.4	31.6	22.8	11.5	13.6	0.3	34.0
郡・町村	118	29.7	16.1	8.5	15.3	24.6	21.2	14.4	13.6	-	33.1
〔性別〕											
男性	527	26.0	13.1	10.6	13.3	31.9	21.6	13.5	13.5	0.2	31.9
女性	657	26.9	16.0	11.7	16.7	34.6	24.7	14.8	14.3	0.2	32.0
〔年代別〕											
20代	98	17.3	12.2	7.1	12.2	30.6	23.5	10.2	7.1	-	39.8
30代	103	32.0	17.5	15.5	21.4	41.7	33.0	14.6	9.7	-	20.4
40代	184	24.5	14.1	8.2	14.7	32.6	16.3	12.5	15.8	0.5	29.9
50代	205	27.8	21.5	13.7	16.6	37.1	28.8	20.5	13.7	0.5	27.8
60代	195	24.6	9.2	11.8	16.4	33.8	21.0	14.4	15.4	-	33.8
70歳以上	399	28.6	14.0	11.0	13.3	30.1	22.3	12.5	15.3	-	35.1

Q8. 宗教者・宗教団体に期待する災害時の活動

	総数	義援金を集める	亡くなった人の葬儀や慰霊を行う	宗教者が積極的に被災者を訪ねて心のケアにあたる	心の相談窓口を設ける	避難場所となる	災害時の支援物資を保管し提供する	信者・会員をボランティアとして派遣する	復興を祈る	その他	とくにない・わからない
総数	1184	26.5	14.7	11.2	15.2	33.4	23.3	14.2	13.9	0.2	31.9
〔性・年代別〕											
一男性一											
20代	48	18.8	12.5	6.3	12.5	33.3	22.9	8.3	10.4	-	39.6
30代	61	32.8	14.8	11.5	18.0	37.7	31.1	13.1	4.9	-	21.3
40代	82	23.2	12.2	4.9	9.8	28.0	12.2	13.4	17.1	-	29.3
50代	81	23.5	17.3	12.3	11.1	34.6	27.2	18.5	12.3	1.2	28.4
60代	84	26.2	6.0	11.9	16.7	31.0	16.7	15.5	13.1	-	35.7
70歳以上	171	28.1	14.6	12.9	12.9	30.4	22.2	11.7	16.4	-	34.5
一女性一											
20代	50	16.0	12.0	8.0	12.0	28.0	24.0	12.0	4.0	-	40.0
30代	42	31.0	21.4	21.4	26.2	47.6	35.7	16.7	16.7	-	19.0
40代	102	25.5	15.7	10.8	18.6	36.3	19.6	11.8	14.7	1.0	30.4
50代	124	30.6	24.2	14.5	20.2	38.7	29.8	21.8	14.5	-	27.4
60代	111	23.4	11.7	11.7	16.2	36.0	24.3	13.5	17.1	-	32.4
70歳以上	228	28.9	13.6	9.6	13.6	29.8	22.4	13.2	14.5	-	35.5
〔職業別〕											
農林漁業	17	23.5	23.5	5.9	29.4	41.2	29.4	5.9	23.5	-	11.8
商工・サービス業	145	27.6	15.9	11.7	11.0	29.0	20.0	20.0	16.6	-	33.8
事務職	205	25.9	13.2	10.7	16.6	41.0	25.4	12.7	11.2	-	30.2
労務職	257	25.3	16.7	12.8	17.9	34.2	24.5	17.1	13.6	0.4	28.8
自由業・管理職	26	34.6	11.5	11.5	15.4	42.3	26.9	11.5	23.1	-	26.9
無職の主婦	278	28.1	11.5	10.1	15.8	32.7	23.7	13.7	12.6	0.4	34.9
学生	22	18.2	36.4	4.5	4.5	27.3	9.1	4.5	13.6	-	27.3
その他の無職	234	26.1	14.5	12.0	12.8	28.2	22.2	11.1	15.0	-	34.6
〔学歴別〕											
(旧)小・高小(新)中学	68	17.6	10.3	5.9	11.8	22.1	8.8	5.9	13.2	-	50.0
(旧)中学(新)高校	572	25.9	14.7	11.4	15.4	29.9	21.0	14.3	14.2	0.2	33.9
(旧)高専大(新)短大・大学	538	28.4	15.4	11.9	15.6	38.7	27.7	15.1	13.9	0.2	27.0
不明	6	16.7	-	-	-	16.7	16.7	16.7	-	-	83.3

Q9. 宗教者・宗教団体のコロナ禍の支援活動

	総数	義援金や物資を集め、必要とする医療施設などに提供	給食がない子どものための「子ども食堂」や「フードバンク」活動	子どもたちの「居場所」や「預かり場所」として施設を提供	孤立する人々への「居場所」として施設の一部を開放	宗教団体や関連施設を「ワクチン接種会場」として提供	宗教団体が運営するホテル・宿泊所を「宿泊療養施設」として提供	オンラインや電話などで相談を受けたり悩みを聞く「心のケア」	お参りができない人のために「オンライン祈禱」を受け付けた	お参りができない人のための「オンライン参拝」や「ライブ配信」	新型コロナウイルス感染症の終息を祈る法要や祈願祭などを開催した	それぞれの宗教的儀礼で、新型コロナウイルス感染症の死者の霊に弔意を表した	帰国できない外国人、失業した留学生や技能実習生の生活支援活動	WCPR日本委員会のオンライン配信「祈りを鳴らす」	医療従事者らへの感謝を込めて鐘を鳴らす「命の鐘アクション」	「コロナ大仏」造立・安置のための全国行脚
総数	1184	11.3	8.2	4.9	4.8	2.3	2.5	3.7	3.1	3.5	4.7	2.0	1.4	0.8	1.5	0.3
〔ブロック別〕																
北海道	48	8.3	4.2	2.1	2.1	2.1	2.1	-	-	-	2.1	2.1	-	-	2.1	-
東北	83	8.4	8.4	7.2	2.4	4.8	2.4	2.4	1.2	1.2	2.4	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
関東	257	10.9	5.4	3.9	3.1	1.2	1.6	3.1	5.4	5.1	3.9	1.6	1.6	0.4	1.9	0.4
京浜	131	8.4	10.7	1.5	4.6	2.3	1.5	1.5	2.3	4.6	5.3	5.3	1.5	1.5	2.3	-
甲信越	58	6.9	-	-	1.7	1.7	-	-	1.7	-	3.4	-	1.7	-	1.7	-
北陸	28	7.1	3.6	3.6	-	-	-	-	-	-	7.1	-	-	-	-	-
東海	146	13.0	11.6	7.5	8.2	2.1	5.5	4.1	2.1	4.1	8.2	-	1.4	2.1	0.7	-
近畿	116	12.9	10.3	5.2	3.4	3.4	2.6	3.4	3.4	1.7	3.4	1.7	-	-	-	-
阪神	73	16.4	11.0	5.5	2.7	1.4	1.4	6.8	5.5	9.6	5.5	5.5	1.4	-	1.4	-
中国	67	4.5	4.5	1.5	4.5	-	-	4.5	1.5	1.5	1.5	-	3.0	1.5	1.5	-
四国	35	11.4	5.7	2.9	2.9	-	2.9	11.4	-	-	2.9	5.7	-	-	2.9	-
九州	142	17.6	12.0	10.6	12.0	4.9	5.6	7.0	4.2	4.2	7.0	2.1	2.1	1.4	2.1	0.7
〔市郡規模別〕																
21大都市	337	9.8	9.2	3.6	3.3	2.1	2.4	2.7	3.0	4.7	5.6	4.2	1.5	1.8	1.8	0.3
その他の市郡・町村	729	12.1	8.0	5.5	5.5	2.3	2.5	4.3	3.6	3.2	4.0	1.2	1.2	0.4	1.5	0.3
〔性別〕																
男性	527	11.6	8.3	4.4	4.7	2.8	2.1	3.0	2.3	2.3	5.3	2.5	1.5	0.6	1.3	0.2
女性	657	11.1	8.1	5.3	4.9	1.8	2.9	4.3	3.8	4.6	4.3	1.7	1.2	1.1	1.7	0.3
〔年代別〕																
20代	98	5.1	3.1	4.1	3.1	2.0	-	2.0	3.1	4.1	5.1	2.0	-	-	-	-
30代	103	15.5	14.6	5.8	3.9	3.9	2.9	2.9	3.9	5.8	3.9	1.9	1.9	-	1.0	-
40代	184	7.6	7.6	4.9	4.3	2.7	2.2	3.8	3.8	5.4	4.9	2.7	0.5	0.5	1.1	0.5
50代	205	12.7	7.3	3.4	5.4	2.4	2.0	2.4	4.9	3.9	5.4	3.4	2.0	0.5	3.4	0.5
60代	195	11.3	7.2	4.1	4.6	1.0	4.1	4.6	3.6	2.6	4.6	1.0	1.0	1.5	1.0	-
70歳以上	399	12.8	9.0	6.0	5.5	2.3	2.8	4.5	1.5	2.3	4.5	1.5	1.8	1.3	1.5	0.3



Q9. 宗教者・宗教団体のコロナ禍の支援活動

	その他	ひとつも知らない・わからない
総 数	0.1	77.4
[ ブロック別 ]		
北海道	-	83.3
東北	-	84.3
関東	-	77.0
京浜	-	77.1
甲信越	-	84.5
北陸	-	82.1
東海	-	69.9
近畿	0.9	75.9
阪神	-	75.3
中国	-	86.6
四国	-	82.9
九州	-	72.5
[ 市郡規模別 ]		
21大都市	-	77.4
その他の市	0.1	77.5
郡・町村	-	76.3
[ 性 別 ]		
男 性	-	77.4
女 性	0.2	77.3
[ 年 代 別 ]		
20代	-	86.7
30代	-	72.8
40代	-	81.5
50代	0.5	71.2
60代	-	80.0
70歳以上	-	76.2

Q9. 宗教者・宗教団体のコロナ禍の支援活動

	その他	ひとつも知らない・わからない
総 数	0.1	77.4
〔 性・年代別 〕		
一男性一 20代	-	81.3
30代	-	78.7
40代	-	85.4
50代	-	69.1
60代	-	79.8
70歳以上	-	74.9
一女性一 20代	-	92.0
30代	-	64.3
40代	-	78.4
50代	0.8	72.6
60代	-	80.2
70歳以上	-	77.2
〔 職 業 別 〕		
農林漁業	-	76.5
商工・サービス業	-	81.4
事 務 職	-	78.5
労 務 職	0.4	75.5
自由業・管理職	-	61.5
無職の主婦	-	78.1
学 生	-	77.3
その他の無 職	-	76.9
〔 学 歴 別 〕		
(旧)小・高小(新)中 学	-	80.9
(旧)中 学(新)高 校	0.2	80.4
(旧)高専大(新)短大・大学	-	73.4
不 明	-	100.0

Q10. 宗教の大切さ

	総 数	非常に大切 だ	まあ大切だ	あまり大切 ではない	まったく大 切ではない	わからない	大切だ (計)	大切ではな い (計)
総 数	1184	6.3	38.9	29.5	9.5	15.7	45.3	39.0
〔 ブロック別 〕								
北 海 道	48	6.3	39.6	33.3	10.4	10.4	45.8	43.8
東 北	83	1.2	38.6	28.9	14.5	16.9	39.8	43.4
関 東	257	6.2	31.1	33.5	9.3	19.8	37.4	42.8
京 浜	131	4.6	42.7	29.8	9.9	13.0	47.3	39.7
甲 信 越	58	1.7	43.1	31.0	5.2	19.0	44.8	36.2
北 陸	28	17.9	25.0	21.4	14.3	21.4	42.9	35.7
東 海	146	8.9	35.6	32.2	4.8	18.5	44.5	37.0
近 畿	116	6.0	42.2	30.2	6.9	14.7	48.3	37.1
阪 神	73	12.3	49.3	20.5	4.1	13.7	61.6	24.7
中 国	67	4.5	43.3	19.4	14.9	17.9	47.8	34.3
四 国	35	11.4	42.9	25.7	5.7	14.3	54.3	31.4
九 州	142	4.9	43.0	28.9	15.5	7.7	47.9	44.4
〔 市郡規模別 〕								
21大都市	337	4.7	41.2	29.4	10.4	14.2	46.0	39.8
その他の市	729	7.4	37.9	28.7	9.9	16.2	45.3	38.5
郡・町村	118	4.2	39.0	34.7	5.1	16.9	43.2	39.8
〔 性 別 〕								
男 性	527	5.9	39.5	29.2	9.7	15.7	45.4	38.9
女 性	657	6.7	38.5	29.7	9.4	15.7	45.2	39.1
〔 年 代 別 〕								
20代	98	1.0	37.8	32.7	12.2	16.3	38.8	44.9
30代	103	2.9	42.7	38.8	9.7	5.8	45.6	48.5
40代	184	4.3	34.2	31.5	7.6	22.3	38.6	39.1
50代	205	6.8	40.0	31.2	10.2	11.7	46.8	41.5
60代	195	6.7	40.5	28.7	9.7	14.4	47.2	38.5
70歳以上	399	9.0	39.1	24.8	9.3	17.8	48.1	34.1
〔 性・年代別 〕								
一男性一 20代	48	-	50.0	31.3	10.4	8.3	50.0	41.7
30代	61	1.6	37.7	41.0	11.5	8.2	39.3	52.5
40代	82	6.1	32.9	28.0	6.1	26.8	39.0	34.1
50代	81	2.5	43.2	29.6	11.1	13.6	45.7	40.7
60代	84	7.1	42.9	27.4	7.1	15.5	50.0	34.5
70歳以上	171	9.9	36.8	25.7	11.1	16.4	46.8	36.8
一女性一 20代	50	2.0	26.0	34.0	14.0	24.0	28.0	48.0
30代	42	4.8	50.0	35.7	7.1	2.4	54.8	42.9
40代	102	2.9	35.3	34.3	8.8	18.6	38.2	43.1
50代	124	9.7	37.9	32.3	9.7	10.5	47.6	41.9
60代	111	6.3	38.7	29.7	11.7	13.5	45.0	41.4
70歳以上	228	8.3	40.8	24.1	7.9	18.9	49.1	32.0

Q10. 宗教の大切さ

	総 数	非常に大切だ	まあ大切だ	あまり大切ではない	まったく大切ではない	わからない	大切だ (計)	大切ではない (計)
総 数	1184	6.3	38.9	29.5	9.5	15.7	45.3	39.0
〔 職 業 別 〕								
農林漁業	17	11.8	58.8	23.5	5.9	-	70.6	29.4
商工・サービス業	145	5.5	39.3	26.9	13.1	15.2	44.8	40.0
事 務 職	205	3.9	37.6	35.1	7.3	16.1	41.5	42.4
労 務 職	257	5.4	38.1	32.3	8.6	15.6	43.6	40.9
自由業・管理職	26	-	34.6	46.2	11.5	7.7	34.6	57.7
無職の主婦	278	7.6	39.9	26.3	9.4	16.9	47.5	35.6
学 生	22	-	27.3	40.9	18.2	13.6	27.3	59.1
その他の無 職	234	9.4	39.7	24.4	9.8	16.7	49.1	34.2
〔 学 歴 別 〕								
(旧)小・高小 (新)中 学	68	10.3	33.8	27.9	13.2	14.7	44.1	41.2
(旧)中 学 (新)高 校	572	5.8	38.3	27.1	10.8	18.0	44.1	37.9
(旧)高専大 (新)短大・大学	538	6.5	40.1	32.2	7.6	13.6	46.7	39.8
不 明	6	-	50.0	33.3	16.7	-	50.0	50.0

Q11. 信仰の有無

	総 数	持っている	持っていない	わからない	答えたくない
総 数	1184	19.3	77.1	1.7	1.9
〔 ブロック別 〕					
北 海 道	48	20.8	72.9	4.2	2.1
東 北	83	18.1	81.9	-	-
関 東	257	12.8	83.3	3.1	0.8
京 浜	131	14.5	81.7	0.8	3.1
甲 信 越	58	13.8	77.6	1.7	6.9
北 陸	28	39.3	60.7	-	-
東 海	146	13.0	82.9	2.1	2.1
近 畿	116	32.8	63.8	1.7	1.7
阪 神	73	30.1	68.5	-	1.4
中 国	67	16.4	77.6	4.5	1.5
四 国	35	25.7	74.3	-	-
九 州	142	23.2	73.2	-	3.5
〔 市郡規模別 〕					
21大都市	337	17.5	78.3	1.8	2.4
その他の市	729	20.3	76.1	1.5	2.1
郡・町村	118	17.8	79.7	2.5	-
〔 性 別 〕					
男 性	527	17.6	78.0	2.5	1.9
女 性	657	20.5	76.4	1.1	2.0
〔 年 代 別 〕					
20代	98	6.1	89.8	2.0	2.0
30代	103	8.7	89.3	1.9	-
40代	184	9.8	84.2	3.3	2.7
50代	205	16.6	82.0	1.0	0.5
60代	195	22.1	72.8	1.5	3.6
70歳以上	399	29.6	67.2	1.3	2.0
〔 性・年代別 〕					
一男性一 20代	48	8.3	89.6	-	2.1
30代	61	3.3	93.4	3.3	-
40代	82	9.8	84.1	3.7	2.4
50代	81	8.6	90.1	1.2	-
60代	84	23.8	69.0	2.4	4.8
70歳以上	171	30.4	64.9	2.9	1.8
一女性一 20代	50	4.0	90.0	4.0	2.0
30代	42	16.7	83.3	-	-
40代	102	9.8	84.3	2.9	2.9
50代	124	21.8	76.6	0.8	0.8
60代	111	20.7	75.7	0.9	2.7
70歳以上	228	28.9	68.9	-	2.2

Q11. 信仰の有無

	総 数	持っている	持っていない	わからない	答えたくない
総 数	1184	19.3	77.1	1.7	1.9
〔 職 業 別 〕					
農林漁業	17	41.2	58.8	-	-
商工・サービス業	145	15.9	80.0	2.1	2.1
事 務 職	205	10.2	85.9	1.5	2.4
労 務 職	257	17.1	78.6	2.7	1.6
自由業・管理職	26	26.9	69.2	-	3.8
無職の主婦	278	23.4	74.1	0.7	1.8
学 生	22	4.5	90.9	4.5	-
その他の無 職	234	25.6	70.5	1.7	2.1
〔 学 歴 別 〕					
(旧)小・高小 (新)中 学	68	29.4	66.2	1.5	2.9
(旧)中 学 (新)高 校	572	21.0	75.2	1.6	2.3
(旧)高専大 (新)短大・大学	538	16.2	80.7	1.9	1.3
不 明	6	16.7	66.7	-	16.7

Q12. 宗教団体への加入

	総数	入っている	入っていない	わからない	答えたくない
総数	1184	8.4	88.2	1.4	2.0
〔ブロック別〕					
北海道	48	4.2	91.7	-	4.2
東北	83	2.4	97.6	-	-
関東	257	5.8	91.4	1.9	0.8
京浜	131	8.4	88.5	0.8	2.3
甲信越	58	8.6	81.0	3.4	6.9
北陸	28	14.3	85.7	-	-
東海	146	8.2	89.0	-	2.7
近畿	116	6.9	88.8	2.6	1.7
阪神	73	15.1	80.8	1.4	2.7
中国	67	6.0	88.1	4.5	1.5
四国	35	20.0	77.1	2.9	-
九州	142	12.7	83.8	0.7	2.8
〔市郡規模別〕					
21大都市	337	9.5	87.5	0.9	2.1
その他の市	729	8.6	87.2	1.8	2.3
郡・町村	118	3.4	95.8	0.8	-
〔性別〕					
男性	527	7.0	89.4	1.9	1.7
女性	657	9.4	87.2	1.1	2.3
〔年代別〕					
20代	98	1.0	94.9	2.0	2.0
30代	103	7.8	90.3	1.9	-
40代	184	3.8	90.8	2.2	3.3
50代	205	7.8	90.2	1.0	1.0
60代	195	11.8	84.1	-	4.1
70歳以上	399	11.0	85.7	1.8	1.5
〔性・年代別〕					
一男性一 20代	48	-	97.9	-	2.1
30代	61	4.9	91.8	3.3	-
40代	82	1.2	93.9	2.4	2.4
50代	81	2.5	95.1	1.2	1.2
60代	84	8.3	86.9	-	4.8
70歳以上	171	14.0	82.5	2.9	0.6
一女性一 20代	50	2.0	92.0	4.0	2.0
30代	42	11.9	88.1	-	-
40代	102	5.9	88.2	2.0	3.9
50代	124	11.3	87.1	0.8	0.8
60代	111	14.4	82.0	-	3.6
70歳以上	228	8.8	88.2	0.9	2.2

Q12. 宗教団体への加入

	総 数	入っている	入っていない	わからない	答えたくない
総 数	1184	8.4	88.2	1.4	2.0
[ 職 業 別 ]					
農林漁業	17	23.5	76.5	-	-
商工・サービス業	145	4.8	90.3	1.4	3.4
事 務 職	205	6.3	90.7	1.0	2.0
労 務 職	257	7.8	88.7	1.6	1.9
自由業・管理職	26	11.5	84.6	-	3.8
無職の主婦	278	9.4	87.4	1.1	2.2
学 生	22	-	95.5	4.5	-
その他の無 職	234	11.1	85.5	2.1	1.3
[ 学 歴 別 ]					
(旧)小・高小 (新)中 学	68	10.3	80.9	4.4	4.4
(旧)中 学 (新)高 校	572	9.3	87.6	1.0	2.1
(旧)高専大 (新)短大・大学	538	7.2	89.8	1.5	1.5
不 明	6	-	83.3	-	16.7

## あとがき

本調査の目的と概要は「はじめに」に記した通りであり、結果の分析内容は本文の通りである。

分析結果を踏まえて 2025 年 9 月 26 日に京都市内で記者会見を開催した。ご参集いただいた報道各社の皆さまには様々なご質問・ご意見を頂戴し、当日の様子を的確に報じてくださったことについて謝意を表したい。

残念ながら今回の調査結果は、宗教者・宗教団体の社会貢献活動に関する認知度が低下していることを明らかにした。回答者の学歴階層が上がっていることと反比例する形で、宗教立の学校や医療機関をはじめとする社会活動・社会事業の認知度が低下しており、ここには、やはり日本社会に流通している宗教情報の偏りが関係していると考えられる。

今回の調査結果を見ても、人々の記憶に残るのは宗教者・宗教団体の「例外的な 1%」に関する側面で、日々営々と続く「日常的な 99%」は認識の俎上に上がらないことが見て取れる。

急速な人口減少と外国人受け入れによる混住化が進む日本社会において、宗教者・宗教団体に期待される役割は決して小さくないと思われる。

今後も客観的で信頼性の高いデータを土台にしながら宗教者・宗教団体の社会貢献活動に関する認知度、および宗教の社会におけるプレゼンスを考えていく作業を続けていきたい。

最後になるが、庭野平和財団の庭野浩士理事長、元専務理事の廣中誠司さん、元担当事務員の廣井由紀子さん、中央調査社の絹川智史さんをはじめとする多くの方々のご協力を賜りながらプロジェクトは進行したことを記しておきたい。とりわけ庭野理事長には多大なご理解・ご協力を賜った。記して感謝を表します。

寺田喜朗（大正大学 教授）

丹羽宣子（立教大学 助教）

2026 年 3 月末日

『宗教団体の社会貢献活動に関する調査』報告書  
(2025年6月実施)

---

2026（令和8）年5月発行

調査・編集 寺田喜朗（大正大学 教授）・丹羽宣子（立教大学 助教）  
発行者 公益財団法人 庭野平和財団